

令和8年度第1回 川崎市社会教育委員会 宮前市民館専門部会

日 時：令和8年7月14日（火）午前10時～12時

会 場：宮前市民館 第4会議室（4階）

1 宮前市民館長あいさつ

2 委嘱式

3 議事

（1）川崎市社会教育委員会 宮前市民館専門部会について

（2）正副部会長の互選について

（3）新しい宮前市民館・図書館管理運営計画策定に向けて

（4）報告事項

ア 令和8年度予算及び事業概要について

・宮前市民館・菅生分館の管理運営計画について

・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について

（5）協議事項

ア 今年度の調査審議テーマについて

（6）その他

ア 第2回宮前市民館専門部会の開催日程について

候補日 9月29日（火）午前10時～ 午後2時～

10月2日（金）午後2時～

10月6日（火）午前10時～ 午後2時～

10月9日（金）午後2時～

イ その他

令和8年度第1回 川崎市社会教育委員会議
宮前市民館専門部会 配付資料一覧

令和8・9年度 川崎市社会教育委員会議宮前市民館部会 委員名簿

資料1 川崎市社会教育委員会議「宮前市民館専門部会」について

資料2 新しい宮前市民館・図書館管理運営計画策定に向けて

資料3 令和6・7年度 宮前市民館専門部会研究報告書

「繋がりと循環・市民館サポーターの育成」について
～みんなの市民館をめざして～

資料4 令和8年度 補修工事予定一覧

資料5 令和8年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

資料6 令和8年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

資料7 「教育文化会館・市民館専門部会 研究課題（活動報告書より）」

(参考)

●宮前市民館だより 第266号（4月1日発行）、第267号（6月1日発行）

●菅生分館だより 第197号（4月1日発行）、第198号（5月1日発行）、
第199号（7月1日発行）

●宮前市民館事業チラシ

- 「日本語学級」 識字学習活動
- 「スマホ×ベジタブルで宮前を楽しもう」 シニアの社会参加支援事業
- 「スマホ相談会 4月・5月・6月・7月・8月（LINE 講座）」 現代的課題学習事業
- 「うたごえ夢市民館」 市民自主企画事業
- 「子育て期の“私”を大事にする講座」 家庭・地域教育学級
- 「みやまえ子育てフェスタ」 課題別連携事業
- 「子フェスタ 0歳からのファミリーコンサート」 課題別連携事業
- 「夏休み子どもあそびランド2026 あそびの達人大募集！」
- 「夏休みこどもあそびランド2026 サポーター大募集！」及び「夏休みこどもあそび
ランド2026 あそびランドをもっと楽しむサポーター養成講座」両面
多様な主体が参画する子どもあそびランド事業
- 「大人のための「子どもの本」の読書会」 市民講師事業

●菅生分館事業チラシ

- 「おしゃべりスマホひろば」 現代的課題学習事業
- 「もし今、大地震がおきたら？自分を守るための講座」 現代的課題学習事業
- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」（4月～6月） 課題別連携事業
- 「児童室であそぼう Day」 子育て支援啓発事業
- 「児童室であそぼう Day 7月」 子育て支援啓発事業
- 「スマホボランティア養成講座」 シニアの社会参加支援事業
- 「菅生分館で「マナビ」のタネをみつけよう」 青少年教室事業
- 「グループ交流発表会」 菅生分館利用者懇談会
- 「おもちゃなおします フレンドおもちゃ病院」

●生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol.257・258

令和8・9年度川崎市社会教育委員会議宮前市民館部会 委員名簿

(任期 令和8年5月1日から令和10年4月30日)

選出区分	氏 名	現 職
1号 (学校長)	こん ひろみち 今 弘道	川崎市立西野川小学校 校長
2号 (社会教育関係団体)	わたなべ みよこ 渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計監査
	しらたけ はつえ 白武 初江	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長
	やまもと たみお 山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	たかく みのる 高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
3号 (市民委員)	ならさき みつお 檜崎 光雄	市民委員
4号 (学識経験者)	かわにし かずこ 川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会
5号 (家庭教育)	みやした ひろし 宮下 大志	宮前区PTA協議会 書記

◎部会長 ○副部会長

(令和8年5月現在)

川崎市社会教育委員会「宮前市民館専門部会」について

○専門部会の概要

専門部会の前身は1988（昭和63）年度から各市民館別に設置された「運営審議会」です。運営審議会は市民館の円滑な運営を目的とし、地域の諸問題に触れ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることを狙いに開催されてきました。

2016（平成28）年度から制度上の理由で、「運営審議会」から「川崎市社会教育委員会専門部会」となりました。名称は変更されましたが、担う役割が変わったものではありません。

宮前区には宮前市民館専門部会と有馬・野川生涯学習支援施設（通称：アリーノ）専門部会の2つの専門部会があります。

委員の任期については、2年とし、年4回（アリーノは年3回）の会議が開催されています。開催月は、概ね6月、9月、12月、2月、（アリーノは7月、12月、3月）となっています。

【専門部会における主な議題】

- ・市民館・分館における事業についての調査・審議
- ・課題研究
- ・次年度の「市民自主学級・市民自主企画事業」選考（2月）

○関連法令等

【社会教育法】

（審議会等への諮問）

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し、補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和23年法律第120号）第8条に規定する機関をいう。第51条第3項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあっては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

（社会教育委員の構成）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

（社会教育委員の委嘱の基準等）

第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他の社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（社会教育委員の職務）

第17条 社会教育委員は、社会教育に関して教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

（1）社会教育に関する諸計画（※1）を立案すること。

（2）定時または臨時会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

（3）前2号の職務を行うために必要な研究調査（※2）を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

※1 諸計画とは、自治体の将来展望・目標、基本方向、基本施策等に関する計画を指しています。川崎市では、教育施策を全体の振興計画である「かわさき教育プラン」の中で生涯学習分野の施策等を含む計画を策定しています。

※2 「研究調査」については、自主的な研究だけでなく、神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会・地区研究会等を活用しています。

【川崎市社会教育委員会会議規則】

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市社会教育委員条例(昭和24年川崎市条例第34条。(以下「会議」という。))の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第1条の2 条例第2条第2項の委員の選出区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 市内に設置された学校の長
- (2) 市内の社会教育関係団体等から推薦された者
- (3) 市内在住の社会教育に関する経験を有する市民
- (4) 学識経験者
- (5) 市内の家庭教育の向上に資する活動を行う者

(専門部会)

第6条 会議は教育文化会館、市民館、及び、日本民家園並びに青少年の家、少年自然の家及び黒川青少年野外活動センター(以下「青少年教育施設」という。)等の社会教育施設の円滑な運営を図るため、別表の専門部会の欄に掲げる専門部会を置く。

2 専門部会は、臨時委員で構成し、教育委員会が委嘱する。

3 前項の臨時委員は、その者の委嘱に係る専門部会の審議又は調査が終了したときは解職されるものとする。

4 専門部会は、臨時委員の互選による部会長及び副部会長を各1名置く。

5 専門部会は、部会長がこれを招集し、その議長となる。ただし、部会長が開催の必要がないと認めるときは、この限りではない。

6 専門部会は、所属する臨時委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

7 専門部会の議事は、出席した臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

8 専門部会の審議又は調査が終了したときは、当該審議又は調査の結果を会議に報告し承認を得なければならない。

9 部会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めその説明を又は意見を聴くことができる。

別表6(第6条関係) 一部抜粋

専門部会	所掌事務	定数	委員の構成
宮前市民館専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	(1) 区内に設置された学校の長 (2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者 (3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 (4) 学識経験者 (5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者

【資料 2】

新しい宮前市民館・図書館 管理運営計画策定に向けて

川崎市教育委員会事務局 生涯学習推進課

1

Ⅰ 計画策定の目的

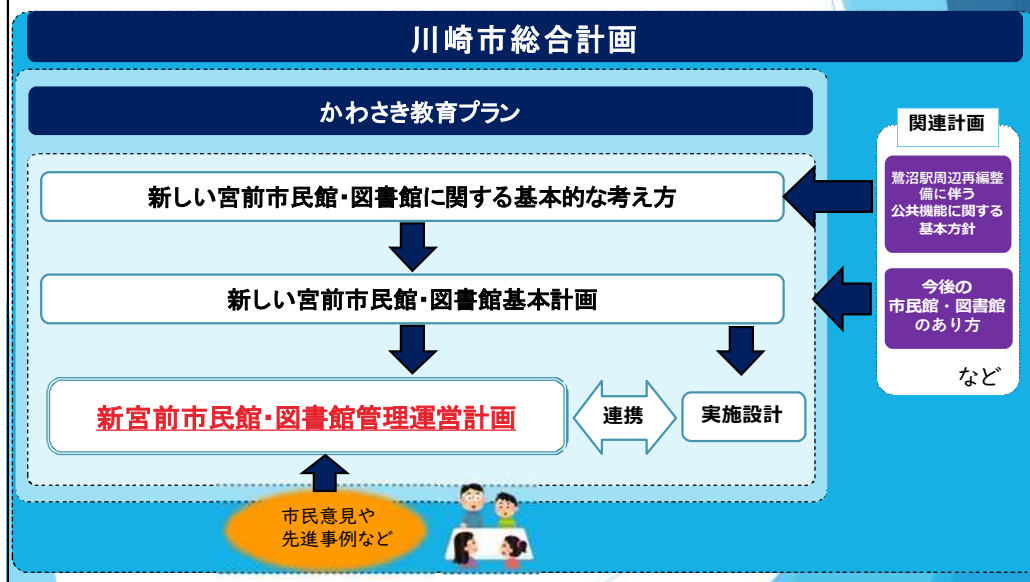
1-1新しい宮前市民館・図書館管理運営計画本計画策定の目的

- ▶ 令和2年8月に策定した「新しい宮前市民館・図書館計画」（以下「計画」という。）に基づき、現在の宮前市民館・図書館を鷺沼駅前周辺に移転し、整備することで新たな施設を設置することとなっています。
- ▶ 本計画は、新しい宮前市民館・図書館の事業サービスの内容や効率的・効果的な提供手法等に関する基本的な事項等を明らかにするとともに、指定管理者制度の導入に際して管理運営の水準を定める際の指針となることを目的としています。

2

2 これまでの検討状況

2-1 計画の位置付け



3

2 これまでの検討状況

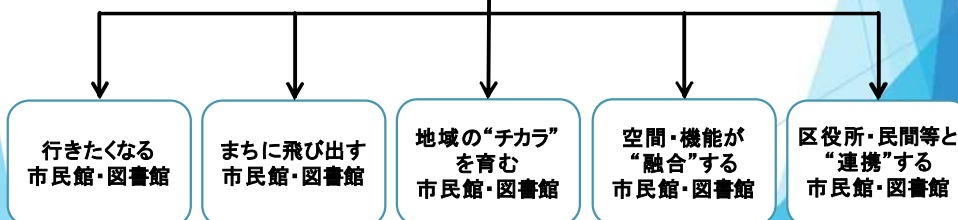
2-2 基本理念・基本方針

「新しい宮前市民館・図書館基本計画」において、再編整備基本方針や「今後の市民館・図書館のありかた」などを踏まえ、以下のとおり基本理念と基本方針を定めました。

【基本理念】

「市民の力で成長し続ける、宮前区らしいスタイルの市民館・図書館」
～多様な人々が交流し、つながり、新たなコミュニティ・生活・文化・教養を創出し、地域への愛着を育む場づくりを目指して～

【5つの基本方針】



4

2 これまでの検討状況

2-3 市民意見の把握

- 「あたらしい宮前市民館・図書館を考えるワークショップ」の開催
令和2年8月～令和3年7月計10回
- ワークショップの結果に関するオープンハウス型説明会
令和3年9月、令和3年10月計2回
- 「宮前区のミライづくりプロジェクト」オープンハウス型説明会
令和4年から毎年開催（令和7年度は4か所で計6回開催）

⇒小中高校生・大学生からベテラン世代まで約250名の方にご参加いただきました。

ワークショップ・オープンハウス型説明会の様子



ワークショップの様子



オープンハウス型説明会の様子

5

3 施設整備及び事業・サービスの考え方

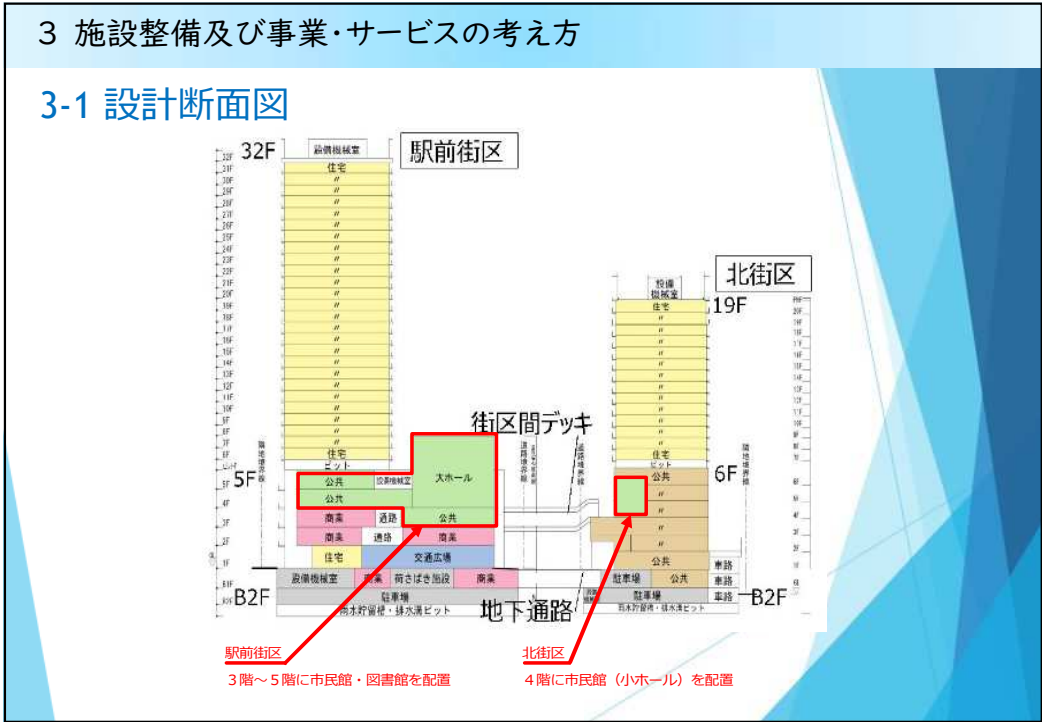
3-0 導入機能の配置イメージ

※準備組合提供資料

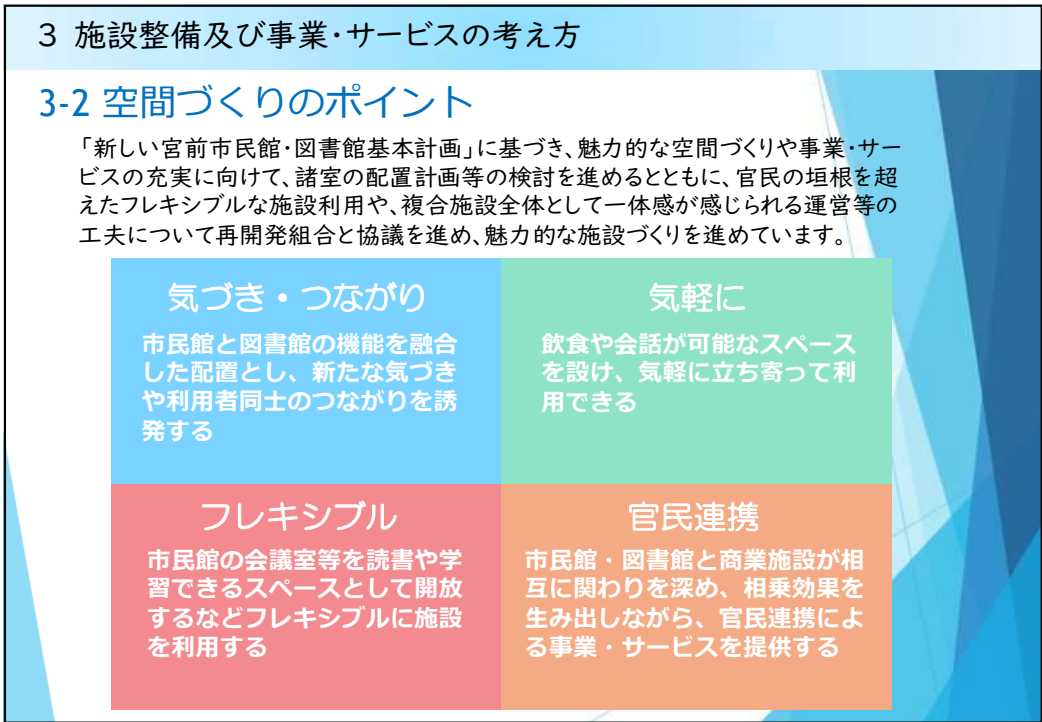
川崎市では、平成31（2019）年に策定した「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（以下、「再開発整備方針」と言う）」に基づき、宮前市民館・図書館の鷺沼駅前周辺への移転・整備に向けた取組を進めています。



6



7



8

3 施設整備及び事業・サービスの考え方

3-3 官民連携について

公共と商業の複合施設は、フロア等により分かれ、それぞれが別々の機能として運営を行うことが一般的ですが、本施設では商業エリアにも市民館・図書館の学びの要素を入れたり、市民館・図書館エリアで商業施設と協力イベントを行うなど、市民館・図書館と商業施設が相互に関わりを深め、官民連携による相乗効果を生み出しながら、施設を訪れる人々が自らの好奇心や探求心を満たし、新たな知識と視点に触れることで、喜びと発見に出会える場とするよう検討を進めています。

＜一般的な施設のイメージ＞

フロア等で公共と商業が分かれる

市民館・図書館

商業施設

＜本施設のイメージ＞

施設全体に市民館・図書館要素を配置

市民館・図書館要素

商業要素

9

3 施設整備及び事業・サービスの考え方

3階 市民館・図書館のメインエントランスで、図書館のオススメ本の配置やイベント開催などフレキシブルに利用でき、官民連携の中心にもなるにぎわいのフロア

商業エリア

住宅

拡大

市民館・図書館

実験室

イメージベース①

メインエントランスとなるエリア

イメージベース②

明るく開放的な吹抜け空間

読書、学習、休憩、軽飲食などで利用可能

図書館のオススメ本を配置

フレキシブルな利用

メインエントランスとなるエリア

イメージベース③

3階と4階の一体的なイベント開催が可能

ミニコンサートなど魅力的なイベントを開催

■ポイント

・日常は、図書館のオススメ本や机・椅子等を配置し、明るく開放的な吹抜け空間で、読書、学習、休憩、軽飲食などで利用できます。

・イベント時は、レイアウト変更し、利用者が足を止めて参加できるミニコンサートやトークショー等を開催します。

10

3 施設整備及び事業・サービスの考え方

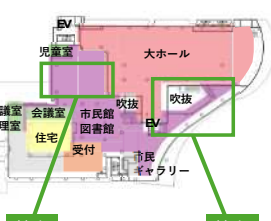
4階 様々な演目に対応可能な大ホールや会議室を配置するとともに、気軽に立ち寄って利用できる児童図書コーナーやオープンスペースを配置した、交流と憩いのフロア

児童書架エリア

イメージバース②



■ポイント
・こどもたちが遊びながら、のびのびと読書や学習などで利用できます。
・段差を配置した立体的な空間を客席のように活用し、読み聞かせなど、様々なイベントを開催します。



拡大

拡大

3階から階段を上ったエリア

イメージバース③



■ポイント
・季節やイベントに合わせて図書館の本を配置し、明るく開放的な吹抜空間で、読書、学習、休憩、軽食などで利用できます。
・3階からつながる吹抜け空間を活かし、3階と一体的なイベントを開催します。



イメージバース②



イメージバース③

11

3 施設整備及び事業・サービスの考え方

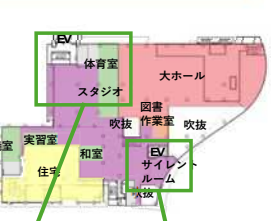
5階 体育室やスタジオなど活動のスペースや、一般図書を配置した、新たな発見やつながりを誘発する学びのフロア

体育室やスタジオと図書館が融合するエリア

イメージバース④



■ポイント
・体育室やスタジオなど、市民館諸室の活動の見える化を行うとともに、活動に関連する図書や座席を隣接して配置することで、新たな発見やつながりを誘発、学習の幅が広がりやすい環境づくりなどを行います。



拡大

拡大

静かな環境で読書や学習ができるエリア

イメージバース⑤



■ポイント
・静かな環境で読書や学習を行うことができるサイレントルームを配置するとともに、明るい環境でゆったりと読書などができるスペースを配置するなど、多様なニーズに応じた利用ができます。



イメージバース④



イメージバース⑤

12

3 施設整備及び事業・サービスの考え方

4 階（北街区）様々な地域イベントに対応できる小ホールを配置

■ポイント

- ・利用用途に合わせて、舞台の大きさを変更し、平土間での利用も可能です。
- ・通常利用時は、200人程度で利用可能です。

①通常利用

断面

②平土間利用

断面

駅前街区と街区間デッキで接続

※配置計画は今後の設計で変更が生じる場合があります。

13

4 指定管理者導入の状況

4-1 指定管理者導入の経緯

(1) 「今後の市民館・図書館のあり方」（令和3(2021)年3月策定）

社会状況が変化し、市民ニーズも多様化する中、市民館・図書館が、地域の中でそれぞれの機能を最大限に発揮しながら、全ての市民が生涯を通じて学び続けることができるよう、概ね10年後の未来を見据えた理念を掲げ、その役割を果たしていくため、それぞれの施設運営や施設整備の方向性を示すものとして策定しました。

10年後の未来に向けて

「人生100年時代の生涯学習社会の実現」～ 生涯を通じた学びと成長

10年後の川崎の未来に向けて、「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」を通じ、持続可能な地域づくりと安心して暮らし続けられるしくみづくりを進め、人生100年時代の生涯学習社会を実現する。

今後求められる役割

「学びと活動を通じたつながりづくり」

市民館・図書館は、市民自身が学習の成果を地域での活動に活かすことで充実感を味わい、更なる学びにつなげていくとともに、学びと活動を循環させることで、持続可能な社会の実現に向けた「人づくり」や「地域づくり」が図られるよう、それぞれの強みや資源を活かした連携を進めながら、「学びと活動を通じたつながりづくり」の役割を果たしていく。

今後のめざす方向性

行きたくなる市民館・図書館
～利用及び参加の更なる促進～

「誰もが行きやすい・参加しやすい」、「また行ってみたい・参加したい」市民館・図書館となることをめざす。

まちに飛び出す市民館・図書館
～身近な地域に立脚した取組の推進～

まちに広がり、つながり、地域の誰もが身近に感じられるような市民館・図書館となることをめざす。

地域の“チカラ”を育む市民館・図書館
～地域資源や担い手づくりの推進～

人づくり、つながりづくりを支える市民館・図書館となることをめざす。

<効率的・効果的な管理・運営手法の検討>

今後の管理・運営に当たっては、それぞれの施設形態や諸室の配置、設備の違いなどに応じた適切な維持管理を実施し、効率的・効果的な管理・運営手法を検討していく。

14

4 指定管理者導入の状況

(2) 「市民館・図書館の管理・運営の考え方」 (令和4(2022)年8月策定)

市民からの多様なニーズに的確かつ柔軟に対応し、従来からの事業・サービス水準をしっかりと維持しつつ、新たな取組を展開していくために、「今後どのような管理・運営の手法が、「今後の市民館・図書館のあり方」実現のために適しているのか」、「生涯学習推進の拠点として最も市民ニーズに沿った市民館・図書館であるためにどうしたらよいのか」という視点に立ち、効率的・効果的な管理・運営手法を検討しました。

これまで

市民ニーズに対し、それに応じたサービスを、市民と連携しながら提供

サービス

市民ニーズ

現在の状況

市民ニーズの広がり・多様化の状況があり、的確に対応していく必要がある。

サービス

市民ニーズ

現行のサービスを確実に維持しつつ、引き続き市民と協働しながら、多様な市民ニーズをケアする

多様なニーズ・課題への対応に向け、民間事業者の発想や工夫、またノウハウ及びマンパワーを有効に活用しながら、事業・サービスの質を向上させつつ、これまでに本市が培ってきた知識・経験の継続や、公共性にしっかりと配慮した上で、市民館及び図書館の新たな管理・運営手法として、「指定管理者制度」の導入を行うこととしました。

15

4 指定管理者導入の状況

4-2 指定管理者制度導入予定時期

【市民館】

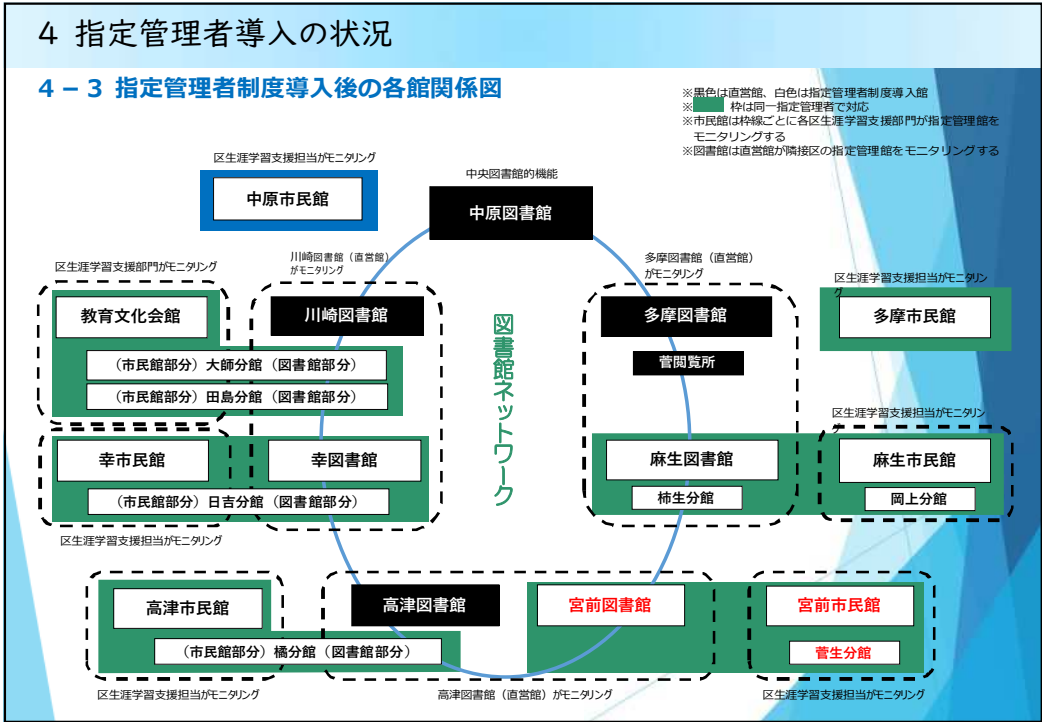
市民館名	導入予定時期
教育文化会館	令和9（2027）年11月
大師分館（プラザ大師）	令和9（2027）年11月
田島分館（プラザ田島）	令和9（2027）年11月
幸市民館	令和10（2028）年7月
日吉分館（プラザ日吉）	令和10（2028）年7月
中原市民館	令和7（2025）年4月 導入済
高津市民館	令和7（2025）年4月 導入済
橋分館（プラザ橋）	令和7（2025）年4月 導入済
宮前市民館	令和14（2032）年度
菅生分館	令和14（2032）年度
多摩市民館	令和8（2026）年4月 導入済
麻生市民館	令和8（2026）年4月 導入済
岡上分館	令和8（2026）年4月 導入済

【図書館】

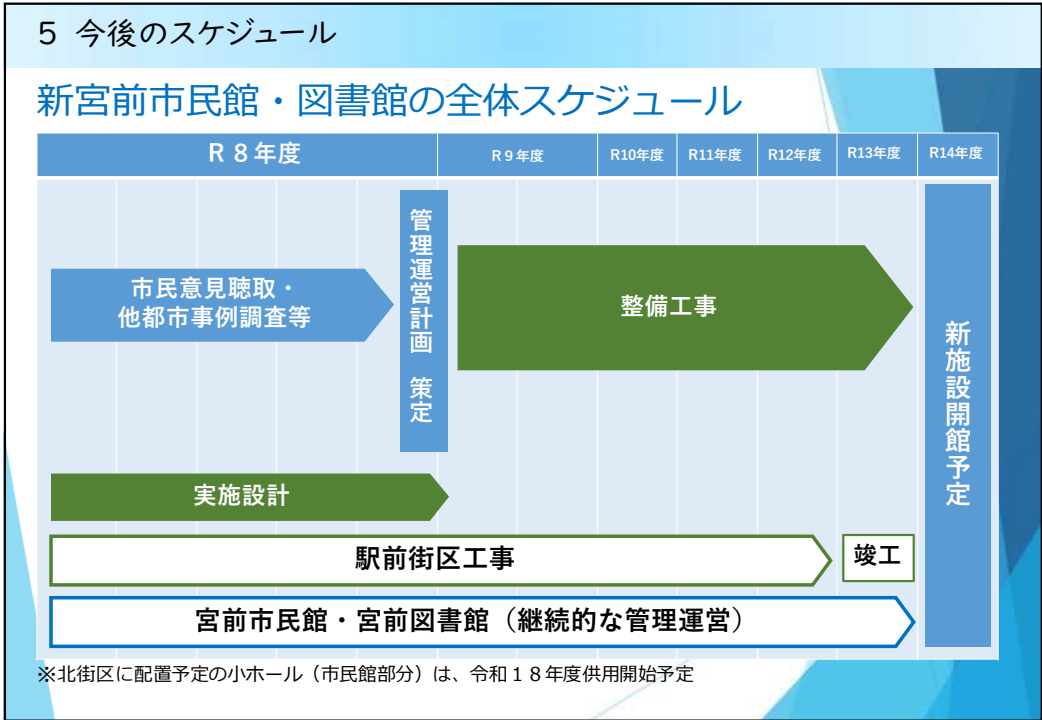
図書館名	導入予定時期
川崎図書館【直営館】	—
大師分館（プラザ大師）	令和9（2027）年11月
田島分館（プラザ田島）	令和9（2027）年11月
幸図書館	令和10（2028）年7月
日吉分館（プラザ日吉）	令和10（2028）年7月
中原図書館【直営館】	—
高津図書館【直営館】	—
橋分館（プラザ橋）	令和7（2025）年4月 導入済
宮前図書館	令和14（2032）年度
—	—
多摩図書館【直営館】	—
麻生図書館	令和8（2026）年4月 導入済
柿生分館	令和8（2026）年4月 導入済

16

8



17



18

令和 6・7 年度 川崎市社会教育委員会議

宮前市民館専門部会 研究報告書

「繋がりと循環・市民館サポーターの育成」

—みんなの市民館をめざして—

令和 8 年 3 月

川崎市社会教育会議 宮前市民館専門部会

1. はじめに

市民館で実施される企画（講座や事業）は多世代を対象に、とても素晴らしいものが数多くあるのに、多くの市民に知られていない。委員の中にも、委員になり市民館に来ようになって初めて知ったというケースが少なくない。これまでも市民館の広報活動の充実を望む意見は多く出され、令和4・5年度は「人と人を繋ぐ市民館であるために II—市民館と市民の情報共有に向けて—」のテーマのもと、「市民館だより」のリニューアルをした。今期もそのための実効的な施策を継続実施することとした。

本会議だけでなくプロジェクト会議も開催して、いかに市民館を知ってもらうか、いかに関わってもらい、好きになってもらうかを協議し、実践できることは館長や職員と共にすぐに着手した。今期は大きな柱として「館内装飾」というコンテンツの講座を開設し「市民館サポーター」を育成することとした。

「市民館」の名称は、S47年に第一号の市民館として多摩市民館が設立された際、「市民自治による市民のための館」と定義され、区民館・公民館でなく「市民館」となった経緯がある。「市民館」の名の通り、新しい目線やフレッシュな視点を入れながら市民の自治による「みんなの市民館」を目指した。

2. 市民館の広報の更なる充実にむけて

★市民館が、川崎市社会教育委員会議宮前市民館専門部会を開催していることも含めて、さまざまな講座や事業を展開しているが、市民へ情報が行き渡っていないと感じており、一般市民とどのように情報共有するかが、非常に大きな問題になっている。情報共有するための情報発信の仕方として、様々な方法論やデジタルの話が出た。

●アプリやメルマガを通じて情報発信

—スマホやメルマガにより検索アプリを使って、どこで何ができるか、地域情報をとれるようにする

—市が登録をすすめている「かわさきイベントアプリ」の宮前区版を

—学校の保護者も児童もアプリを入れているので、チラシもデータも送信可能。学校経由を活用

●事業内容の公開

- 講座や事業に参加できなかった人のために、内容が見られるようネット配信
 - 開催事業の様子を写真や映像で紹介（プラネタリウムなどの人気事業などや
 - 市民エンパワーメント研修－防災や歴史の講座など）
- Web 開催できると 30～40 代が取り込める（※ただし、顔の見える関係作りも大切）
- 講師の許可を取って資料を HP に掲載したり YouTube にアップ
- ゆくゆくは動画のアーカイブが残るようになると良い
- 講座やイベントの様子を動画で公開し、市民の関心を得る
 - 生涯学習交流集会で着物リメイクで SDGs のファッションショーの様子を動画公開
- 様々な場所での告知・広報連携
 - 区民祭に市民館ブースを出し事業告知や活動の広報
 - 区役所の待合にチラシやイベント情報を
 - チラシやポスターは東急各駅や公共施設に
- 出前活動 ・連携事業の促進
 - いこいの家、こども文化センター、向丘出張所での広報・出前事業
 - 菅生分館と向丘出張所の連携事業（地域人材育成関連）実施
 - 「0 歳からのファミリーコンサート」は小学校の体育館での開催で大盛況。
 - 菅生分館で人気の講座や事業を宮前市民館でも開催（例：おもちゃドクター、着物をリメイク講座など）
 - スマホ相談会の需要は多く、区役所でも相談ブースを
- 市民館・分館だより・チラシの工夫
 - 子どもあそびランドのチラシはイラストと色遣いで目を引く
 - 「仲間で部屋を利用しませんか？こんな利用ができます」「分館でマナビのタネをみつけよう」「体験・見学できます一覧」など目を引くキャッチコピーを （添付資料）
- 初めての人の目線で目を引く工夫 （すぐに実践→）
 - ロビーの「グループ情報掲示板」に見学可能シールを貼る
 - チラシコーナーのチラシに「絶賛募集中」「満員御礼」など視覚的に訴える表示
 - 「市民館利用のご案内」を初めて市民館にきた市民にわかりやすいかチェックしてもらい→土日祝も朝 9 時から夜 9 時まで使えることを知らない市民がいたので修正
- 館内の動線見直し・部屋の開放など（すぐに実践→）

ーロビーが暗い

→ロビーから見える3階の窓に目隠しにもなる白紙を貼った

→LED電球に替え明るくした

→**館内装飾事業に発展**（子どもあそびランドや季節ごとの館内装飾）

ー3階の事務所がわかりにくい

→フロアマップを見える形に、目立つ場所に

ーロビーに内線電話を設置し3階の事務所と直接話せる

ー館内見学ツアー・探検（いろいろなことに使用できる特別室の認知）

ー料理教室の利用促進の為、ふれあいネットの個人カードをつくり夜間に職員と共に利用
（有料）

ーダンスには体育館、受験準備の学習支援として空き室を開放（※有料の貸館が前提の為
工夫が必要）

→ロビーの一角に机を配置し学習支援

●企画の工夫

ー「新しい体験と発見でデジタル社会の今を楽しく！元気に！」は毎回異なることを取り
上げ、多様なテーマの中で一つでも興味を持てば参加をし、新しい発見に結び付く
講座になって大盛況。スマホの操作だけでなく、AIを取り上げ常にアップデートし
ていくことも必要

ー特に男性ははっきりした動機があると参加する（男の料理教室：一人分を作る）

また顔見知りがいると参加しやすい。

ー着物リメイクのファッションショーのように発表の場があるのは、講座参加者には充実
の時間であるばかりか、観客の市民にとっても講座の広報になり、もっといろいろな活
動も発表の場を設けるべき

ー「認知症」関連の企画は目を引く

ーイベントや飲食などの参加の動機付けが必要

●市民館をトランクルームのように間貸しする

ー市民館の利用団体に倉庫を貸し出しする仕組みがあり、PRすると新規の利用者が増え
る

3 テーマ「繋がりと循環・市民館サポーター体制の確立」

★ボランティア・市民講師の育成は市民館・学校・町会自治会・文化協会などとの連携し、人や担当が変わっても継続的に連携できる仕組みの構築が必要

—毎年スマホの使い方についての関心や相談が多く、宮前市民館や菅生分館でも講座が盛況である。その講座のボランティア養成講座も活況で、「スマボラ宮前」は町内会にも呼ばれて活動している。スマボラの育成にとどまらず、習得したスキルを地域で活用できる場・仕組みがあると、本人も達成感が持てるし、スマホによる市民のつながりができ市民館活動のPRにもなる。さらに地域の課題を持って市民館に戻ってくる人の流れができると、スマボラの地域循環の仕組みができる。

—市政だよりや市民館だより、HPで市民講師の募集をしている。自分が講師となって教えるボランティアは自分の力を地域に還元できる。十分に活躍するために、4～8月頃に市民講師が活躍できる講座ができると良い。その為には、前年の秋市民自主学級・企画事業の広報と合わせて募集すると良い。

—読み聞かせのボランティアは学校と連携し、活動の場を学校にも広げると良い

—文化協会の活動も市民館主催の事業や家庭教育学級とも連携できると良い

★社会教育事業のボランティアがどれだけいるかが市民館の価値の指標になる

—識字学級のボランティアは様々な動機で参加しているが、社会教育事業のボランティアがどれだけいるかは市民館サポーターの層の厚さを表している。

4. 「宮前市民館ってどんなところ？」

★「知って関わって好きになろう」を掲げ市民館サポーターの育成を

—「市民館ってどんなところ？」講座を企画。市民館見学からスタートし、講座の見学・来年度のチラシの作成し、ゆくゆくは講座に参加し感想やコラムを市民館だよりに書き、講座の企画やサポーターとして担い手になれるよう育成することを目指す。

＜令和6年度 宮前市民館市民エンパワーメント研修＞

「宮前市民館ってどんなところ？～リアルな講座の内部をのぞいてみよう！～」

全5回講座

■講座の目的

人と人をつなぐ機会を創る市民館の魅力に触れ、その魅力を発信する“応援サポーター”として市民館とつながってってくれる人を養成するきっかけとする。

■対象者 関心のある人 20人

■申込者 9名（男性3名、女性6名）

■プログラム

回	日程	内容	講師
第1回	令和7年2月15日（土） 14時 - 16時	市民館の役割や講座の成り立ち等を学ぶ、館内見学	職員
第2回	令和7年2月20日（木） 10時 - 12時	講座見学①	
第3回	令和7年3月6日（木） 13時 - 15時	講座見学②、チラシの効果とチラシができるまで	
第4回	令和7年3月13日（木） 14時 - 16時	次年度の講座のチラシ作り	
第5回	令和7年3月22日（土） 14時 - 16時	チラシ案の披露、講座の振り返り	

■各回の内容について

★第1回 参加者:8名

- ・オリエンテーション（講座の趣旨・流れ等を説明、受講者の自己紹介）…市民館の認知度の確認、仲間意識の醸成
- ・講義「市民館について」…貸館業務と主催事業、生涯学習と社会教育等について学ぶ
- ・映像視聴（市民館HPで各部屋の紹介、あそびランドの様子紹介）…会議室や事業を映像から知る
- ・館内見学（1階大ホールから4階料理室まで）…施設全体の空間の広がりを見て感じる
- ・講義「講座ができるまで」…講座の種類、企画方法、広報の重要性や課題等実例や苦労話も含め、実態を知る
- ・第2回講座見学について…事前に知っておいてほしいポイント等を確認する
- ・専門部会、部会長挨拶…部会の役割、本講座が部会を絡めての課題クリアに向けた試みであることを知る

★第2回 参加者:6名

- ・講座「男女平等推進学習～ひとりで楽しく生きていきたい！～」見学…講座の雰囲気をつかむ

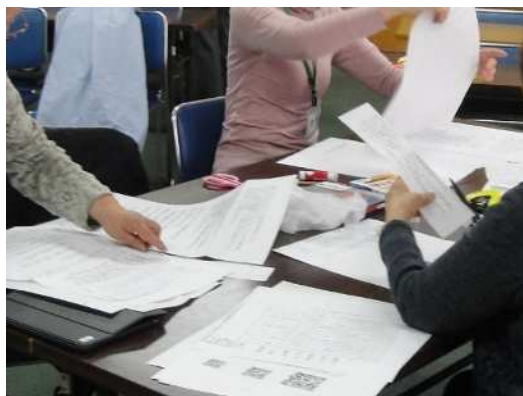
・チラシラック探検…市民館と区役所内に配架中のチラシに着目し、良い点や改善点等を洗い出す

★第3回 参加者:5名

・事業「スマホ相談会」見学…講座から誕生したスマホボランティアが、スマホを通したつながりづくりを第一に、様々な活動を展開していることを知って、第1回で学んだ市民館主催講座とカルチャーセンターの違いを体感する

・講義「チラシの効果」…講座を知った経過で最も多い“チラシの出来”が、申込にも影響することを知る。また第2回で見学した講座のタイトルや内容、チラシの検討経過を知り、チラシによって印象が変わる事を実感する

★第4回 参加者:6名



・館長挨拶…前回から加わったメンバーもいるので、振り返りながら市民館がどういう場所かを再確認する

・シニアの講座のチラシ作り…講座の意図、掲載必須の情報等を汲み取り、各々またはグループでチラシ案を作成。推しポイント等を発表し、考え方やアイデアの違いを知るとともに、作成の難しさや面白さ等を感じる

★第5回 参加者:4名

・シニアの講座のチラシ案お披露目と手直し…前回のアイデアを基に作成した4案のチラシを実際にラックに配架し、客観的な見え方を話し合う。自分の考えたチラシが4月に実際に配架されるワクワクを体験

・「宮前市民館利用案内」の見直し…手に取りやすい利用案内にリニューアルする為、市民の視点で様々な意見出しを行う。成果物を見て、市民の声（自分の声）が行政に届く実感や満足感を得る

・講座の振り返り…「宮前市民館について新しく知ったこと」、「今後多くの方に知って利用してもらうためには」等について思った事を忌憚なく話し合う



■まとめ

- ・専門部会を絡めての初の試みで、手探りのなかで回を進めていった。少人数であったからこそ一人一人と向き合う好機となり、忌憚のない意見を出してもらうことが出来たようだ。
 - ・全5回の講座を通して、市民館がどういうところで何が出来るのか、どんなことを課題と感じているのかを知り、さらに市民目線で、課題を自分事として考えてもらうことができて、大きな収穫となった。
 - ・今回初開催できたことは課題クリアに向けて一歩前進となったが、やはり1回講座をやっただけでは市民館の応援サポーターにまではつながらず、想定通り難しかった。
- しかし、受講者の感想にもあった通り、市民館を知って関わって好きになってもらうためには、このような講座を、形を変えながらも継続して開催していくことが大切であると実感した。そして今回の受講者9名から、まずは市民館について認識を変え、各々の生活の中で出来ることから市民館をPRするような言動につながっていく事を願っている。

★今回の参加者は50～70代でチラシを見ての参加が多かった。チラシのタイトル「市民館ってどんなところ？」に興味を持ち参加し、果たして知らないことが多く、市民館の目的や意義、活動内容、館内のレイアウトがよく分かったとの声があった。

チラシの作成ワークショップは面白い体験と評価されたが、更なる配布の充実によってもっと広報をするべきとの意見があった。今後市民館活動に参加したい意向や地域に貢献したい気持ちを持った人が半数近く見られた。

5. Let's ハンドメイド&館内装飾 Ver2～

★ロビーが暗いことから何とか明るく人を迎えるウエルカム感を出したい、全館使用の「子どもあそびランド」の各部屋への誘導、余りのチラシが多くあることなど色々な理由から、チラシを使った市民館ファンを作り、その制作にかかわることで、市民館サポーターの育成の一助にすることとし、「館内装飾中高生版講座」を立ち上げることにした。

★以前より、「子どもあそびランド」のテーマ決めや装飾は、企画委員やブルースターという中高生が運営していたが、更に講座受講者も含めサポーターの層を厚くすることを目的とし、今後講座をどのように展開するかについてロードマップを作製した。

<市民館装飾ロードマップ>

令和7年7月～8月

- ・ 青少年教室事業 「Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？ Ver2」 実施
- ・ 館内装飾・夏休み子どもあそびランド装飾実施 青少年グループ「メンダコ」結成

令和7年10月～12月

- ・ 市民エンパワーメント研修 「Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？ ver.3 大人編～」計画
- ・ 青少年グループ「メンダコ」による館内装飾更新 夏→冬バージョンへ変更（クリスマス・お正月）
- ・ 市民館ロビーカフェ「カフェトーク」にてエンパワーメント研修告知を兼ねたワークショップを開催（12月12日）
- ・ 12月16日より市民エンパワーメント研修「Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？ ver.3 大人編～」申込開始

令和8年1月～2月

- ・ 「Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？ ver.3 大人編～」開催
- ・ 参加者作品を市民館及び区内学校へ展示予定 参加者の中から今後も定期的に装飾に参加してくれるメンバーを募り子供と一緒にグループ化

令和8年2月～3月

- ・ 青少年グループ「メンダコ」とエンパワーメント研修受講者グループで館内装飾 冬→春バージョンへ変更（桜）

令和8年4月～

- ・ 定期的に館内装飾変更
- ・ グループによる出前ワークショップを展開【ロビーカフェ・老人いこいの家・町内会自治会・出張所・分館・アリーナ】

周辺事項

令和7年11月

- ・宮前区PTA協議会運営委員会にて1月～開催の講座で作成する市民館ファンの展示希望について告知

令和7年度内

- ・市民館ファンの作り方を作成しHP公開

★「館内装飾」作品によって市民館を明るく楽しい雰囲気にすることが第一義目標で、季節ごとに作品を替えることにより、定期的に来館することになる。市民館をどのようにするかを考え、自分の作品を紹介展示したり地域へ広めたりすることで、継続的な市民館のサポーターとなり、市民と館の協働運営による「みんなの市民館」づくりの文化醸成を目指すことが大きな目的となる。

<令和7年度 宮前市民館青少年教室事業>

Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？Ver2～

全6回講座

■講座の目的

市民館の存在とその役割を知り、8月に行われる市民館全館を使ったイベント「夏休み子どもあそびランド2025」に向けて館全体を装飾する経験から、イベントに関わることで自分を表現する楽しさを実感し、市民館に親近感を持ち、今後も市民館を足場に活動することを意識する。

■対象者 関心のある中高生など 20人

■申込者 5名（男性1名、女性4名）

■プログラム

回	日程	内容	講師
第1回	令和7年7月20日(日) 13時半-15時半	オリエンテーション 宮前 市民館ってどんなところ？	職員
第2回	令和7年7月21日(月・ 祝) 13時半-15時半	楽しくハンドメイドする	ママニコット
第3回	令和7年7月23日(水) 13時半-15時半	みんなのオーナメントで市 民館をデザインしよう① 〈館内装飾編〉	イラストレーター 絵描き屋みかん氏
第4回	令和7年7月24日(木) 13時半-15時半	みんなのオーナメントで市 民館をデザインしよう② 〈あそびランド編〉	
第5回	令和7年8月15日(金) 10時～15時	あそびランド前日準備	職員
第6回	令和7年8月20日(水) 13時半-15時半	次は何を作ろうか	

■各回の内容について

★第1回 参加者:4名

- ・講座の趣旨、流れの説明
- ・「宮前市民館」について貸館業務と主催事業、生涯学習と社会教育等について説明を行う
- ・市民館に行ってみたい、と感じられるような装飾を入口付近に施したい旨を伝える
- ・「夏休み子どもあそびランド」の様子を伝え、当日の装飾を考える
- ・装飾のイメージを作りながら、館内を見学
- ・初日から、入口付近やあそびランド当日の階段装飾について活発な意見が交わされる

★第2回 参加者:4名

- ・市民館の事業からできたグループによる、ワークショップを経験する
- ・ワークショップでは「マジック三つ編み」と「フレーベルの星」を体験
- ・講師から、市民自主企画事業を企画した時の思いや、その後の活動では地域のマルシェなどに主にワークショップ形式で参加し、つながりを大切にしていることなどについての話を聞く

★第3回 参加者:5名

- ・講師の指導の下、コロナ禍で配布できず残っていた市民館だよりを使い、市民館ファンを作成



・「市民館」を意識してもらえるように、市民館ファンを基調にして入口付近の装飾を開始

★第4回 参加者:6名

・あそびランド当日の部屋の配置などを頭に入れながら、イベント用の館内装飾を作成していく

- ・部屋へ誘導する小人を折り紙で作成
- ・階段装飾は、3F→4F 踊り場をヤシの木の浜辺とし、階下の深海まで潜っていくイメージにするという案をまとめ、準備を始める

★第5回 参加者:4名

- ・あそびランドの前日準備を始める。あそびランドのボランティアと共に4階廊下と階段の飾り付けを行う
- ・2名ほど、あそびランドの企画委員として午前中から全体準備も行う

★第6回 参加者:4名

- ・あそびランドの振り返り
- ・イベント終了後も市民館を知ってもらうためにどのような装飾が必要かを考える
- ・市民館への階段をより際立たせるために市民館ファンを使い、装飾を増やす



■講座後の活動

★9月14日(日) 参加者:2人

- ・「夏休み子どもあそびランド」のサポーターをした方(中3男子)が初参加
- ・3F→4F 踊り場の装飾を秋の浜辺のイメージで《かもめ・さんま・七輪》に変更

★10月5日(日) 参加者:4人

- ・「夏休み子どもあそびランド」のサポーターをした方(大3女子)が初参加
- ・今後の日程の決定と、それぞれの日程の作業内容の話し合い
- ・クリスマス用の装飾を作成

星1 1月2日（火）参加者：4人

- ・大きな《雪だるま》と《暖炉》を作成2F→3Fの階段脇と踊り場に貼り付け
 - ・クリスマスツリー準備（幹は普通の木にもなるような形にして三角の葉をつけていく）
 - ・サンタ、トナカイなどクリスマス用装飾を作成
 - ・クリスマスの飾りは12月の活動日に貼り替え予定
- （コミュニティカフェ内で、クリスマスリースをカフェ利用者と共に作成。10名強の市民がお茶を飲みながら楽しんで作った。）

★12月14日（日）参加者:4人

- ・11月に準備したツリーを貼り付け
- ・《ガーランド》《ブッシュドノエル》《ペンギンのスキーリフト》をそれぞれ作成し、2F→3F踊り場に貼り付け



★1月11日（日）参加者:5人

- ・中3男子が、学校の友人を連れてくる
- ・冬らしい風景は何だろう？という話し合いの結果、凧を作り3F→4F踊り場に貼り付け、柄は、ゲームのキャラクターがずらり…（若者にしかない発想だと驚き）
- ・後半は、せっかくならこのメンバーであそびランドのコーナーを持たないかという話題に自然に移っていき、ホールの使い方と併せて意見交換あそびランドの企画運営委員会にも誘っておく

★2月1日（日）参加者:3人

- ・ピンクの花(桜)のファンを増産
- ・溶けた形のゆきだるまを作成
- ・折り紙で牛を折る

今後、期末試験の時期に入り、3月末まで集まれないため、3月3日に職員が張り替えを行った

- ・ペンギンのスキー場は、春に向けて雪が解けたら牧場になるはず！なので、雪景色を草原にしておいてくれという指示で緑の模造紙に貼り替え

- ・折紙の牛を放牧（家でも追加で折ってくる予定で、次回増やす）
- ・雪だるまを溶け始めた形に変更

桜の花は3月12日の大人の装飾部に装飾をお願いします

★3月22日（日）参加者:6人

- ・2F→3F踊り場の草原に宿題で作成してきた牛を放牧
- ・3F→4F踊り場を竹林に変更

緑の模造紙が余っていたことから、緑から連想されて春らしい景色ということで竹林を作ることになった。竹林の雰囲気合うから、と野点の席を作り、桜餅も折り紙で折り、用意した。また、高校生男子が折り方を検索してかぐや姫も飾った。現在ネットで「超かぐや姫！」という映画がヒットしていることもあり、熱がこもっていたようだ。

■まとめ

- ・講座の応募人数が芳しくなかったため、6月17日の専門部会ワーキングでチラシとは別にA3ポスターを作成した。
- ・ポスターは東急の鷺沼駅、宮前平駅、宮崎台駅に掲示を依頼、また町内会の掲示板にも掲示した。実際に宮崎台駅のポスターを見て応募したという方もいた。
- ・講座では少人数ながら大変活発に意見が出され、市民館やあそびランドについて理解してもらえたという感覚を持てた。
- ・講座終了後、普段では丁度すれ違いで関われないような学年の人と関わって良かった、学校以外で好きなところがあった、などの感想が挙がり、市民館で中高生向けの講座を開催する意味が伝わったようだ。
- ・他にあんなところも装飾したい、など意欲的な意見もあり、今後につなげられそうな様子が見られた。
- ・今後も日常的に装飾を続けたいことを伝え、また集まってもらうことにした。同時に、あそびランドサポーターでアンケートに連絡先を残してくれた方には、今後の活動のお知らせを送った。
- ・人数が少ないので、作業量は多くはないが、中高生のノリで皆、楽しそうに作業している。女子高、男子校、公立共学など様々な環境の子が集まっているので、学校内とは違う話題が多く、楽しいようだ。
- ・参加している子ども達は、親が宮前親子学級やみやまえ子育てフェスタの企画委員経験者が多く、また子どもが装飾を始めたので、大人の装飾部に親が参加したという方もいる。

親子で市民館に関わり、つながっていく流れが良いと思う。

- ・学校の友人を引き込んでくれる子もあり、そのような広がりは今後も期待したい。ただ、学校とは違うコミュニティを持ちたいという思いを抱いている子もいるため、必ずしも装飾が目的でなくても、市民館に来たいという気持ちを大切に、関わっていききたい。
- ・必ずしも計画に沿って作業が進んでいる訳ではないが、自分たちがやりたいと思ったことをのびのびとやらせてあげたい。
- ・市民館にあまり出入りしない年齢層なので、少しずつでも人数を増やし、できるだけ長く継続していききたいと思う。

★アンケートにあったように、装飾を作ることだけでなく他校の友人づくりや学校以外でのコミュニティ作りを求めている青少年もいる。また、親子での参加への広がりも見取れる。今後地域社会や教育・自分自身のあり方などへ興味をもち学びたい意向があった。

6. 「Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？」

ver.3 大人編

★館内に様々な装飾作品が展示され、雰囲気が明るく楽しいものとなった。宮前区がアート事業を展開したり、夏の館内装飾が非常に好評で、どのように作るのかの問い合わせも数件あり、大人向けの「館内装飾講座」を開催することとした。

地域へ出てワークショップを開催できる人材をし、作品発表の場を地域内に確保し、町内会・いこいの家・学校・こども文化センターなどと連携できることをめざす。

<令和7年度 宮前市民館市民エンパワーメント研修>」

「Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？ver.3 大人編～」

全5回講座

■講座の目的

令和7年度青少年教室事業～Let's ハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？Ver2～」の続編として、ハンドメイドが好きな大人向けに実施。館内を装飾する経験を通

して市民館の良さや魅力に気づき、SDGs アート作品で表現することを楽しむ機会とする。また長期的に市民館での活動が続くよう意識しながら、学校や地域との交流を創出することを目指す。

■対象者 関心のある人 20 人

■申込者 24 名（男性 1 名、女性 23 名）

※区外からの申込者内訳（幸 1 名、中原 1 名、高津 2 名、多摩 1 名）

■延べ参加者 107 名

■プログラム

回	日程（全て 14 時～16 時）	内容	講師
第 1 回	令和 8 年 1 月 15 日（木）	奥深い“SDGs アートの世界”を知る 作ってみよう！＜市民館ファン編＞	イラストレーター 絵描き屋みかん
第 2 回	令和 8 年 1 月 22 日（木）	作ってみよう！ ＜モバイルファン編＞	
第 3 回	令和 8 年 1 月 29 日（木）	作ってみよう！ ＜リングアート編＞ &＜ステンドグラス風アート編①＞	
第 4 回	令和 8 年 2 月 12 日（木）	作ってみよう！ ＜ステンドグラス風アート編②＞	
第 5 回	令和 8 年 2 月 19 日（木）	館内に作品を飾ろう！ 次は何を作る？	

■各回の内容について

★第 1 回 参加者:24 名

- ・講座の趣旨、流れ等を説明…市民館を知って利用してもらうための装飾という目的と、ただの趣味をするだけの場でないことを認識してもらう。また、青少年チーム「メンダコ」の活動を知って季節に応じた装飾活動を、大人チームを結成し続けていくことも共有
- ・受講者自己紹介…ハンドメイド好きという共通点、これからも一緒に活動するという点から、世代等を越えた仲間意識の醸成
- ・館内装飾の見学（2 階ロビー、4 階廊下、階段等）…現在の装飾を実際に見て、雰囲気をつかむ
- ・講師より、廃棄される身近な材料で作れる SDGs アート作品の紹介や、捨てずに活かす大切さ等のお話し



- ・ワークショップ…実際に飾られている市民館ファンを作り、市民館に親しみを感じる

★第2回 参加者:19名

- ・中学生職場体験の様子報告…学校や地域への広がりきっかけに
- ・著作権についてお願い…実害例を講師より紹介いただき、SNS等で広める場合、講座名や講師



名も必ず添えてもらうことでお互い守られる

・ワークショップ…市民館ファンをアレンジした春向けのモビールファン作りを通して、互いに見せ合い話し合いながら仲良くなる



★第3回 参加者:23名

- ・グループを変えて、仲良くなるためのおしゃべりタイム (3分)
- ・ワークショップ①…トイレットペーパーの芯を使ったリングアート作りを体験
- ・ワークショップ②…ペットボトルのラベルを使ったステンドグラス風アート作りを体験
いずれも、SDGsを意識しながらの制作で、驚きと発見のある楽しい作業に



★第4回 参加者:21名

- ・ワークショップ…ステンドグラス風アート作り (続き)。初めてグループ共同作業としたので、完成図を想像して意見を交わしながら、ワイワイ作業を進めるグループ、ゆったりと和やかに進めるグループとあり、参加者の距離が一気に近くなった
- ・第2回と第3回で作った作品を、バランスを考えながら一体感が出るように、市民館4階廊下に展示

★第5回 参加者:20名

- ・第4回で作った作品の飾り付け…まずは光の射し込む第4会議室の窓にかざし、全員でバランスを見ながらより素敵に見えるように配置決め。市民館4階ベンチ上のガラス面へ貼付し記念撮影。同4階廊下に展示した作品を鑑賞し、皆で行う館内装飾の楽しさを実感。

- ・付箋を使ったグループワーク…講座の感想、今後の装飾アイデアについてグループで最後の話し合い。互いの考えを聞き交流を深める
- ・グループ代表による発表…他のグループの感想や考え等を聞いて、装飾の楽しさや奥深さを感じる
- ・講座後の活動について…次回の日程を伝え、同窓会という形で集まって今後の装飾についてアイデア方向性を決めることに



■講座後の活動

☆3月12日(木)午後2時～ 参加者:11名(+みかんさん、職員)

- ・今後装飾をお願いしたい4階廊下、2階ロビー(予定)のアイデア出し
- ・8月あそびランドに向けて、装飾や当日のワークショップ等も一緒に考えていきたいと伝えた
- ・2階から3階へ上がる階段の「大きな木」に桜のモビールを満開に咲かせて、周辺には使用済チラシを再利用した手作りの蝶々やチューリップを飾り付けて、春の明るい演出に変更。皆のアイデアで3種類の蝶々を作成し、一部の蝶々は3階廊下にも飾った。



☆3月19日(木)午後2時～ 参加者:8名(+職員)

- ・前回同様、使用済みチラシを再利用して「菜の花」作り。難易度は高くないが、花と葉の一つ一つのパーツを作る工程が多いため、一人一つ作って時間いっぱい。しかし、ゆっくりとおしゃべりしながら楽しく創作できた。普段から様々なものを制作しているメンバーはチューリップの花束や花飾りを制作してくれた
- ・この集まりの名前を話し合いの結果、「クラフトみやまえ」に決定。

【次回は4月23日(木)午後2時～】

■まとめ

- ・定員や住んでいる地域を超えて、24名の幅広い世代の方から申し込まいただき、ハンドメイド人気・需要の高さを肌で感じた。とりわけ夏に青少年教室事業のメンバー(メンダコ)が装飾した館内の市民館ファンを見て、気になって申し込んだ方が多く、自分が作ったものを館内に飾りたい、孫や友人に教えてあげたい、というハンドメイド好きの本能

（創作意欲）が刺激されて集まってくれたように感じ、今回タイミングよく講座を企画・実施できて良かった。

- ・初回では講座のサブタイトル「～宮前市民館ってどんなところ？～」の意味や、装飾プロジェクトを始めたきっかけにも触れ、せっかくのご縁なので講座後もつながって、来館した人の目を楽しませる装飾、市民館に来たくなるような装飾を一緒に作ったり、装飾を中心とした活動を無理なくゆるやかに続けていきたい旨を伝えた。
- ・中には、工作は小学校ぶりという方もいたが、捨てられる身近なものが新たな作品に変わる喜びや、出来上がりを想像しながら作るワクワク感がたまらないといった感想をいただき、SDGs の意識を持つ大切さをあらためて感じた。

- ・第2回の前日、区内中学2年生の職場体験があり、チラシを使ったモビール作りを体験。何のために装飾活動をしているのかを、地域の学生にタイミングよく伝えることが出来た。持ち帰ってもらい、学校や家庭でも話のネタにしてもらって、今後の広がりへのきっかけになればと願っている（講座参加者にも報告。）
- ・講師の知り合いの実（害）例を通して、作品の著作権について触れた。今後作品を人に教えたり広めたりする場合は、本講座名や講師名もお伝えいただくようお願いした。
- ・24人と比較的大所帯で初心者の方もいた為、全体的にゆっくりとしたペースとなり、手持ち無沙汰になる方がいないか多少の不安もあったが、次の作業展開を予測しながら進めてみたり、グループ内で教えたりしながら有効に使ってくれていたもので安心した。
- ・第4回は初の共同作業にしたが、大人になってから中々そのような機会がなかったという方が多く、とても好評だった。
- ・第5回はグループワークで講座の率直な感想や、冬から春に変えるアイデアを話し合い、発表。限られた時間の中で、思い思いに最後のトークに花を咲かせ、装飾アイデアもたくさん出て、講座が終わってしまう淋しさはありつつ今後の活動を前向きに考えている方が多かったので、安心した。
- ・次回（3月12日）参加できる方が12名、3月12日は参加できないけれど、次回以降の連絡はほしいという方が9名。
- ・今回の参加者の中で、別の講座の参加をきっかけに市民館の講座に関心を持つようになり申し込んだ方もいた。昨年度から続けている『宮前市民館ってどんなところ？』を地道に続ける意義をあらためて感じた。今後は市民館を拠点にグループとしての活動が軌道に乗り、永く続くよう市民館として後方支援をしていけたらと思った。

★多くの参加者（20名）の内半数が70代だったが、40代も50代も見られた。今回市民館活動が初めての参加者が4割強で、手作り人気がかがえる。見本として作品が館内に展示されていることも参加の後押しになったようだ。講座内容は好評で、楽しい、知り合いができた、SDGs アートの意義が感じられた、仲間との協働作業は楽しいなどの声が挙がり、今後市民館活動への参加意向を示した。特にいこいの家や子ども文化センターで自分が教えて広めたい意欲のある人もみられた。このように地域へ広がることこそ、地域の人々との繋がりと循環になる。

7. おわりに 今後への提言

広報にアプリを利用し、学校経由で若年層や保護者に市民館活動情報を発信することや、既に実施している講座内容の写真・動画公開は、新規の市民の関心を集めるのに有効である。講座自体をネット配信で行うことが将来において増えていけば、新たな受講生が獲得されるが、講師の承諾の必要や地域内で顔を合わせて人間関係を作る目的もあることから、テーマによっては限定的にならざるを得ない。両方のバランスが大切である。

今回の市民館サポーター育成のための講座は、地道に継続してこそ波及効果が広がるものである。コンテンツを絞り、定期的に来館し仲間作りを広げていくこと。また獲得したスキルを自身が講師となって実践すれば地域の人との繋がりが増し、ひいては市民館広報にも寄与する。「知って関わって好きになる」ことの具現化である。

また「ビジター・リピーター・サポーター」という言葉がある。このステップに添った人材育成や掘り起しをいろいろなコンテンツの企画を通して実施することが肝要である。

- ・チラシ作成講座（職員のスキルを市民と共有）
- ・市民館サポーター養成講座の参加者と青少年教室の子どもたちと一緒に企画
- ・「菅手つなぎまつり」のように小学校・自治会・地域が連携し、新しく宮前区の地域に根差した核になるものをどういうふうで育てていけるか考える（例えば、ブレイクダンスコンテストの開催・各地域にある太鼓や獅子舞・祭の企画）
- ・区役所は土日が休みなので、市民館でロビーコンサート・定期演奏会など

青少年が仲間を誘ったり、親子で参加したり、また自身の作品の発表の場がいろいろなころにできれば、「館内装飾」は単に館内を明るくするものにとどまらず、地域の繋がりや循環をもたらす大きな柱になるであろう。その為には「市民館サポーター講座」の開催継続が必須である。

<添付資料>

本会議・ワーキング

	日 時	内 容
令和 6 年度No. 1	6/28（金） 14-16	広報の工夫について
令和 6 年度No. 2	9/24（火） 14-16	今期のテーマについて
ワーキング①	10/17（木） 9:30-11:30	市民館のサポーターについて
令和 6 年度No. 3	12/13（金） 14-16	サポーター・ボランティアの育成
ワーキング②	1/15（水） 10-12	講座について
令和 6 年度No. 4	2/16（日） 13-17	市民自主学級・自主企画事業企画提案会
「宮前市民館ってどんなところ？」 2/15～3/22 5 回		
ワーキング③	3/26（水） 10-12	事業ポスター作成
ワーキング④	4/9（水） 10-12	利用案内・チラシ・ロビーレイアウト
ワーキング⑤	5/29（木） 10-12	ロビーのレイアウト変更
ワーキング⑥	6/17（火） 13:30-15	ポスター・レイアウト・館内装飾・案内図
令和 7 年度No. 1	6/25（水） 10-12	館内装飾の取り組み
「中高生 Let's ハンドメイド & 館内装飾」 7/20～8/20 6 回		
令和 7 年度No. 2	9/24（水） 10-12	市民館に人を呼ぶ企画・サポーター

ワーキング⑦	11/16（水）10-12	館内装飾講座 ver 3
令和 7 年度No.3	12/9（火）14-16	ロードマップ
コミュニティカフェにて準備 クリスマスリース作り 12/12（金）11-14		
大人版「Let's ハンドメイド 館内装飾」 1/15～2/19 5 回		
令和 7 年度No.4	2/15（日）13-17	市民自主学級・自主企画事業企画提案会

<宮前市民館専門部会 委員名簿>

任期：令和 6 年 5 月 1 日から令和 8 年 4 月 30 日

氏 名		所 属
部会長	かわにし かずこ 川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会・日本語教授
副部会長	やまもと たみお 山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	わたなべ みよこ 渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計
	しらたけ はつえ 白武 初江	宮前第 6 地区民生委員児童委員協議会 会長
	たか く みのる 高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
	ならさき みつお 檜崎 光雄	市民委員
	みやした ひろし 宮下 大志	宮前区 P T A 協議会 副会長
	ごとう かおり 後藤 香織	川崎市立宮前平小学校 校長

★第7期(2022)年1月1日より
★1月1日より

菅生分館

（貸出と申し込み）

（休館と中止）

（休館と中止）

貸出分館は、管内のみならず管内外にあり、文芸活動の中心となる市民活動の中心施設です。読書活動の推進や市民活動の推進に力を入れています。

菅生分館だより

発行(川崎市市民文化局読書推進課 読書推進課) CCO-21100
〒216-0011 川崎市菅生区菅生4-4-11
TEL044-977-4781 FAX044-978-3460

〒216-0011 川崎市菅生区菅生4-4-11
TEL044-977-4781 FAX044-978-3460

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★今年も、新しいこと、はじめてやる★

- ① 自然書 菅生 (男児)** 1月15日(水) 2月12日(水)9時35分～10時35分、10時40分～12時40分
12歳以下と2歳以上、親子の申込で参加可能。参加費は月3回しはしらのパンフレットを贈る年費制です。
- ② ニッドルーム 男児** 1月17日(金)2月7日(金)13時～15時
1歳以上最年長児。各々が好きなものを描き、わからない所は先生が教えてくれるしるしやてい。
- ③ 先生園遊会 休館** 1月19日(日)10時～11時
12歳以上の年齢中に別室を中心に運営しています。参加者限定です。
- ④ 認知症カフェ 読書 男児** 1月22日(水) 14～16時
誰でも参加していいイベントです。お茶を飲みながら、読んでいい本をさがすことができます。
- ⑤ 手紙づくり 直前会 休館 男児** 1月23日(木) 13時～15時
お父さんやお母さんでできるうさぎと絵がでるようにするための勉強会を行います。
- ⑥ 昭和史研究会 休館 男児** 1月24日(金) 13時～15時
今年で第16年となる昭和史の山田浩史先生による昭和日本を尋ねるための近況と歴史を伝えます。
- ⑦ 土曜児童クラブ 休館** 2月1日(土) 13時～16時
図書を知りたいなど、5つの基本のメニューに初め利用の1日の指導で読書の時間をとります。

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**今年も、新しいこと、はじめてやる★**

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの遊び・体験会！

★**のびのびふたば**★
親子で楽しむしるしとゲームの

- 22 -

令和7年度 宮前市民館青少年教室事業

8月16・17日に行われる
「夏休み子どもおそびランド2025」の
館内オーナメントを作ってみませんか？

中学生 大学生

Let's ハンドメイド&館内装飾

～宮前市民館ってどんなところ？Ver2～

日時 7月20日、21日、23日、24日、8月15日、8月20日
13:30～15:30 他 全6回

広い壁を
いっぱい使って
自分を表現！

絵を描くこと
が好きな人！

ものづくりが
好きな人！

小物作りの
ワークショップ
も！

夏休みにちょっと
違った体験を！

○対 象 中高生及び大学生の関心のある人 20人
○会 場 宮前市民館
○費 用 無料
○申 込 6月18日（水）10時から
直接・電話・ホームページで
（先着順）

※申し込み時にお送りした個人情報は、本事業実施の目的に限り
利用いたします。

市営フォーラムはこちら！

お問い合わせ・申し込み 宮前市民館(044)888-3911

手作り大好きな
中高生と大学生 20名！
宮前市民館に集合！

Let's ハンドメイド &館内装飾

日時: 7月20日・21日・23日・24日
8月15日・20日 全6回
13:30～15:30

お問い合わせ・申し込みは
宮前市民館 (044)888-3911
～宮前市民館ってどんなところ？Ver2～

館内装飾作品写真



令和 6・7 年度
川崎市社会教育委員会 宮前市民館専門部会
研究報告書

「 繋がりと循環・市民館サポーターの育成 」
～みんなの市民館をめざして～

令和 8（2026）年 3 月発行
編集 川崎市社会教育委員会 宮前市民館専門部会
（事務局）川崎市宮前市民館
川崎市宮前区宮前平 2－20－4
電話 044－888－3911

令和 8 年度 補修工事予定一覧

■目標

宮前市民館・図書館、営生分館を、安全に快適に利用できるように施設維持を行う。

■令和 8 年度補修予定

No.	工事分野	館	件名
1	給排水衛生設備	宮前市民館	洗面台等補修工事
2	空調衛生	宮前市民館	大ホールトイレ及び排気ファン補修工事
3	機械	宮前市民館	大ホール緞帳補修工事
4	建築	宮前市民館	市民館外壁補修工事
5	建築	営生分館	ウッドデッキ補修工事
6	機械	〃	空調機補修工事
7	(委託)	宮前・営生・アリーノ	LED化照明工事（基本設計）

■宮前市民館・図書館の施設維持体制

令和 7 年度より、管理運営委託業者の専門の設備員が常駐し、館内施設点検や台風・大雨前に排水系の清掃等を行い、大きな不具合が発生しておりません。

館内設備の全体的な劣化が進んでいるため、必要な整備の検討や、予算措置を宮前区及び教育委員会事務局と連携して行ってまいります。

令和8年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

社会教育振興事業					
事業名	事業内容	予算(円)		7年度事業内容	8年度事業計画
		R7	R8		
社会参加・共生推進学習事業					
識字学習活動	日本で生活する外国人が、日常生活に必要な基礎的日本語を学ぶとともに、日本人と外国人が互いの文化等を学び合うことで、多文化共生社会をめざします。	報償費 422,000 消耗品 8,000 役務費 1,000	報償費 422,000 消耗品 8,000 役務費 1,000	昼 4/18～3/13 金 10:00～12:00 全33回 保育つき 夜 4/9～3/4 水 19:00～20:30 全34回	昼 4/17～3/12 金 10:00～12:00 全33回 保育つき 夜 4/8～3/3 水 19:00～20:30 全34回
識字ボランティア研修	識字学習活動等に参画するボランティアの資質の向上を図り、多文化共生の地域社会をめざします。	報償費 40,000	報償費 40,000	識字ボランティア入門研修（夜間） 10/8～12/3 水 18:00～20:00 全9回 参加者21人（定員20人） 識字ボランティアブラッシュアップ研修（昼） 10/3 金 14:00～16:00 参加者13人 （定員14人） 識字ボランティアブラッシュアップ研修（夜間） 7/16 水 18:00～20:00 参加者17人 （定員20人） 3/18 水 18:00～20:00 参加者20人 （定員30名）	検討中。秋以降に実施予定
障がい者社会参加活動	障がいのある人の社会参加を図るため、障がい者も健常者も共に余暇活動や交流を行い、共生社会をめざします。	報償費 120,000 役務費 15,000	報償費 120,000 役務費 15,000	バスハイク、工作、スポーツ体験ほか 5/11～3/8 日 10:00～12:00 全10回	芋掘り、バスハイク、スポーツ体験ほか 5/17～3/14 日 10:00～12:00 全10回
市民自治基礎学習事業					
平和・人権・男女平等学習	憲法・教育基本法の理念に基づき、平和や人権の尊重、性による差別に関する学習により、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成をめざします。	報償費 150,000 消耗品 8,000 役務費 2,000	報償費 150,000 消耗品 8,000 役務費 2,000	「スマホで世界を旅してみよう」11/7～12/5 金 14:00～16:00 全5回 参加者 16人（定員16人） 「無意識の思い込みとさよならしよう」1/15～2/7 木 10:00～12:00 全5回 参加者 13人（定員20人）	昨年度と同様、12～3月に5回程度予定
青少年教室事業	小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくりやつながりづくりを促進します。	報償費 50,000 消耗品 8,000 役務費 2,000	報償費 50,000 消耗品 8,000 役務費 2,000	「Let'sハンドメイド&館内装飾～宮前市民館ってどんなところ？Ver2～」7/20～8/20 不定期 13:30～15:30 全6回 参加者 6人（定員20人）	検討中。年明け以降に実施予定
成人教室事業	成人層を対象として、成人期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくりやつながりづくりを促進します。	報償費 40,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	報償費 40,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	「美味しい人生を味わうために～これからにつなげる自分史～」5/27～6/24 10:00～12:00 全5回 参加者 5人（定員20人）	検討中。年明け以降に実施予定
シニアの社会参加支援事業	団塊の世代等の市民が、社会で培った豊富な経験・知識・多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での活動に参加できるよう支援します。	報償費 75,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	報償費 75,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	「見上げてごらんスマホで空を」5/7～7/9 水 14:00～16:00 全10回 参加者28人（定員20人）	「スマホ×ベジタブルで宮前を楽しもう」5/13～7/8 水 14:00～16:00 全9回 参加者24人（定員20人）
高齢者セミナー	高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供し、学習を通じた生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期を送るための支援をします。	報償費 75,000 消耗品 6,000 役務費 2,000	報償費 75,000 消耗品 6,000 役務費 2,000	「新しい体験と発見で、デジタル社会の今を楽しく！元気に！」10/8～11/21 水 14:00～16:00 全5回 参加者25人（定員25人）	「楽しいオカリナ講座～オカリナを学んで友達づくり～」11/11～12/2 水 10:00～12:00 全4回 定員20人
家庭・地域教育学級	家庭教育の充実を図るために、学齢期の子どもの成長や親子関係について学びます。	報償費 100,000 消耗品 5,000 役務費 4,000	報償費 100,000 消耗品 5,000 役務費 4,000	「宮前親子学級」 9/4～11/6 木 10:00～12:00 全10回 参加者10人（定員20人）	①「子育て期の“私”を大事にする講座」5/12～6/9 火 10:00～12:00 全5回 参加者7人 ②「宮前親子学級」 10/1～11/12 木 10:00～12:00 全6回 実施予定 定員15人(0～6歳の保護者)

市民館保育活動	幼い子をもつ親の学習機会を保障するため、主催事業に保育を併設し、地域で支え合う子育ての環境醸成をめざします。	報償費 101,000 消耗品 5,000	報償費 101,000 消耗品 5,000	①「識字学習活動（昼間）」対象32回 子どもの参加者2人 ②成人教室事業「美味しい人生を味わうために～これからにつなげる自分史～」全5回　子どもの参加者3人 ③家庭・地域教育学級「宮前親子学級」全10回子どもの参加者：6人 ④平和・人権・男女平等推進学習②「無意識の思い込みとさよならしよう」全5回　子どもの参加者2人"	対象事業（予定） ①「識字学習活動（昼間）」対象32回 ②家庭・地域教育学級「子育て期の“私”を大事にする講座」全5回　子どもの参加者8人 ③家庭・地域教育学級「宮前親子学級」全6回 ④市民自主学級「赤ちゃんとママ、パパのための初めて講座ーわらべ唄と絵本」全5回 ⑤平和・人権・男女平等推進学習　全5回予定
保育ボランティア研修	市民館保育を支援するボランティアの資質の向上を図り、人間らしさを育む社会をめざします。	報償費 30,000	報償費 30,000	地域で支える子育て（ブラッシュアップ研修）　9/4～11/6　木　10:00～12:00　全10回　参加者20人（定員20人）	ブラッシュアップ研修を実施予定（時期未定）
区家庭教育推進連絡会	家庭教育推進事業を円滑に行うために協議します。			8月29日、2月19日開催 参加者5人（委員数5人）	年度末までに2回開催予定
PTA家庭教育学級講師派遣	市内小学校PTA等で開設される家庭教育学級の開設の支援及び講師謝礼を補助します。	報償費 実施額	報償費 実施額	宮前区及び高津区（一部）の小・中学校29校にて開設　9月～12月	宮前区及び高津区（一部）の小・中学校29校にて開設　9月～12月

事業名	事業内容	予算(円)		7年度事業内容	8年度事業計画
		R7	R8		
市民学習・市民活動活性化学習事業					
市民自主学級 (長期)(短期)	地域の課題等の解決のための学びを個人・グループが企画提案し、市民館と協働で学級を企画運営します。	委託料 75,000	委託料 150,000	「宮前を知らう歩こう楽しもう」 9/28～12/14 主に日 10:00～12:00 全6回 参加者35人（定員35人）	①「橘樹を知らう歩こう楽しもう」 9/6～11/29 日 10:00～12:00 全6回 実施予定 定員35人 ②「赤ちゃん和妈妈、パパのための初めて講座ーわらべ唄と絵本」11/10～12/8 火 10:00～12:00実施予定 定員20人
市民自主企画事業	地域の特性に応じて、学習・文化・芸術の振興や市民の交流、ネットワーク化に向けて、多様な形態の事業を個人・グループが企画提案し市民館と協働で事業を企画運営します。	委託料 250,000	委託料 230,000	①「うたごえ夢市民館」 9/10～2/11 全6回 参加者86人（定員80人） ②「道具を使って手作りおもちゃ！！」 9/7～11/30 全4回 日 9:30～12:00 （参加者41人）定員 各 親子18組	①「うたごえ夢市民館」 9/8～2/9 第2火 10:00～12:00 全6回 定員80人 ②「道具を使って手作りおもちゃ！！」 11/3 午前・午後 計2回 定員は小学生とその保護者15組 ③「こんにちは 阿波おどりを踊りましょう」11/19～12/10 全3回 木 10:00～12:00 定員30人
市民エンパワーメント研修	市民自らが考え生活・地域課題等に取り組むために市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供します。	報償費 60,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	報償費 60,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	L e t ’ sハンドメイド&館内装飾～ 宮前市民館ってどんなところ？V e r . 3 大人編～ 1/15～2/19 全5回 木 参加者24人 （定員20人）	検討中。秋以降に実施予定
市民講師事業	様々な分野において、豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるように、育成・支援を行います。	報償費 60,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	報償費 60,000 消耗品 5,000 役務費 2,000	「わたしのまちの昔ばなし（語りの会）」 3/15 日 14:00～16:00 33 人（定員30人）	「大人のための「子どもの本」の読書会」7/7、7/28 火 10:00～12:00 全2回 定員20人
PTA活動研修	子どもの健やかな成長を支えるPTA活動の研修をします。	報償費 60,000 消耗品 5,000	報償費 60,000 消耗品 5,000	6/4～6/25 家庭教育 1回、広報 1 回、全体 2回開催、家庭教育学級報告 会 1回開催予定	6/4～6/25 家庭教育 1回、広報 1 回、全体 2回開催済み、家庭教育学級 報告会 1回開催予定
生涯学習交流集会	市民主体の生涯学習・社会教育に向けて市民と職員が共に考えます。	報償費 30,000 役務費 1,000	報償費 30,000 役務費 1,000	市民自主学級・市民自主企画事業実施 団体による成果報告と講話（菅生分館 と合同開催）報告者:学級2組、企画事 業5組 テーマ:「これからの市民活動につい て」 3/14 土 13:30～15:30 23人 （定員30人）	3月に実施予定
学習情報提供 ・学習相談事業	市民学習活動支援の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集整理し、提供します。また、市民活動を支える市民相互援助システムづくりを図ります。			来館、電話、メールなどによる相談への対応	来館、電話、メールなどによる相談への対応
市民・行政協働・ネットワーク学習事業					
行政区 地域教育会議 推進事業	家庭・学校・地域の連携により、区内の子育てや生涯学習ネットワーク、教育への市民参画システム作りを行い、地域の教育力の向上をめざします。			宮前区地域教育会議の活動への支援	宮前区地域教育会議の活動への支援
行政区 生涯学習推進会議	市及び区の生涯学習推進基本計画に基づき、行政職員による会議を行います。			実施せず	実施未定
課題別連携事業等	地域での子育てや福祉、環境、多文化共生などの課題に取り組むため、関係する市民や機関と連携した会議に参加するとともに、事業を協働で実施します。 様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根ざした文化を創造します。	委託料 130,000 消耗品 5,000	委託料 130,000 消耗品 5,000	①「子フェスタ広場」 6/15 日 10:00～15:00 参加者 208人 ②「0歳からのファミリーコンサート」 6/30 月 11:00～12:00 みやまえ子育てフェスタ2025」 10/25 土 10:00～15:00 来場者約1,300人 ③「フレンドおもちゃ病院」 4/27、 6/22、8/25、10/26、12/21、2/22 日 13:00～16:00 ④「宮前区子育て支援関係者連絡会」 宮前区地域みまもり支援センター地域 ケア推進課を事務局として関係団体で 結成（連絡会、うえるかむクラスほか）	①子フェスタプレイベント「0歳からのファミリーコンサート」 6/29 月 11:00～12:00 参加者:148人 「みやまえ子育てフェスタ2026」 10/24 土 10:00～15:00 ②「フレンドおもちゃ病院」 4/26、 6/28、8/23、10/25、12/20、2/28 日 13:00～16:00 ③「宮前区子育て支援関係者連絡会」 宮前区地域みまもり支援センター地域 ケア推進課を事務局として関係団体で 結成（連絡会、うえるかむクラスほか）
現代的課題対応学習事業					
現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援します。	報償費 40,000 消耗品 5,000	報償費 40,000 消耗品 5,000	「スマホ相談会」 4/4～3/5（毎月第1 木曜日） 参加者計65人（定員8人×3回）	「スマホ相談会」 4/9～ 開催中（毎月第1木曜日） 参加者累計96人（定員8人×3回）今後3 月まで8回実施予定 内、8月はLINE講座実施予定

事業名	事業内容	予算(円)		7年度事業内容	8年度事業計画
		R7	R8		
教育文化会館・市民館学習環境整備事業					
社会教育委員会議 宮前市民館専門部会	市民館の円滑な運営を図るため各種事業の企画実施について調査審議します。			社会教育委員会議宮前市民館専門部会 年4回開催（6/25、9/24、12/9、2/15） 委員8人	社会教育委員会議宮前市民館専門部会 年4回開催予定（7/14ほか） 委員8人
刊行・広報活動	学習記録や調査研究書の作成、館のたよりやホームページなどにより、学習情報の蓄積、公開を行います。	印刷製本費 500,000 役務費 10,000	印刷製本費 500,000 役務費 10,000	市民館だより年6回 各回9,000部発行 ホームページ随時更新 メールマガジン発行	市民館だより年6回 各回9,000部発行 ホームページ随時更新 メールマガジン発行
その他		備品購入費 37,000 食糧費 8,000	食糧費 8,000	事業用物品、講師用 飲料水	事業用物品、講師用 飲料水
情報機器整備事業	視聴覚センターと連携して情報技術機器の整備を図ります。			視聴覚教材及び視聴覚機材の貸出	視聴覚教材及び視聴覚機材の貸出
その他事業					
地域の寺子屋事業	地域教育会議、地域のNPOなどが実施主体となって、放課後に子どもたちに、様々な学習機会を提供し学力向上や豊かな人間形成を図ります。	生涯学習 推進課 予算	生涯学習推 進課 予算	「中部地区情報交換会」 11/25 火 10:00～11:30	「中部地区情報交換会」 10月～12月 開催予定
社会教育振興事業 予算額	報償費	1,453,000	1,453,000		
	消耗品費	75,000	75,000		
	食糧費	8,000	8,000		
	印刷製本費	500,000	500,000		
	役務費	45,000	45,000		
	備品購入費	37,000	0		
	委託料	455,000	510,000		
	合計額	2,573,000	2,591,000		
区地域課題対応事業					
事業名	事業内容	予算(円)		7年度事業内容	8年度事業計画
		R7	R8		
宮前区地域人材育成指針 関連事業	地域人材の育成と活用を進めるため、区役所各課と連携したモデル事業や地域人材育成指針の策定を行います。	報償費 83,000 消耗品 32,000 食糧費 1,000 役務費 5,000	報償費 83,000 消耗品 32,000 食糧費 1,000 役務費 5,000	「本でつながるまちづくり」（向丘出張所と連携） 3/4～3/11 火 10:00～12:00 全3回 参加者 14人(定員20人)	連携先を検討中
多様な主体の社会参加推進事業	多様化する地域課題の解決に向けて、地域活動（まちづくり）と比較的疎遠であった中高生や外国人市民に遊びをキーワードにした世代間交流、多文化交流の場を提供することにより、多様な主体による活性化した地域コミュニティ創造の一助とします。	委託料 607,000	委託料 577,000	「夏休み子どもあそびランド2025」 8/16（土）、8/17（日） 9:30～13:00 会場:宮前市民館、区役所前広場 内容:昔あそび、工作、ジャグリング体験、プラネタリウム、ボードゲーム体験、クイズラリー、おはなし会等 延べ来場者数：5,700人	「夏休み子どもあそびランド2026」 8/15（土）、8/16（日） 9:30～13:00 会場:宮前市民館、区役所前広場 内容:昔あそび、工作、プラネタリウム、ボードゲーム体験、クイズラリー、おはなし会等、ホールで紙飛行機飛ばしなど
区地域課題対応 事業予算額	報償費	83,000	83,000		
	消耗品費	32,000	32,000		
	食糧費	1,000	1,000		
	印刷製本費	0	0		
	役務費	5,000	5,000		
	委託料	607,000	577,000		
	合計額	728,000	698,000		

	報償費	需用費				役務費			備品購入費	委託費	合計
			消耗品	印刷製本	食糧		郵便	保険			
社会教育振興事業予算額	1,453,000	583,000	75,000	500,000	8,000	45,000	45,000	0	0	510,000	2,591,000
区地域課題対応事業予算額	83,000	33,000	32,000	0	1,000	5,000	5,000	0	0	577,000	698,000
合計	1,536,000	616,000	107,000	500,000	9,000	50,000	50,000	0	0	1,087,000	3,289,000

令和8年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

令和8年7月2日現在

社会教育振興事業						
事業名	事業内容	当初予算(円)		7年度事業内容	8年度事業計画(一部内容)	
		R7	R8			
市民自治基礎学習事業						
青少年教室事業	小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決や地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり・つながりづくりを促進します。			「菅生分館でマナビのタネをみつけよう」 対象:小・中学生（昭和史のみ高校生も可） 全11回 7/21 盆踊り体験（4人/定員8人） 7/25 昭和史の学習（3人/定員8人） 8/22 昭和史の学習（2人/定員8人） 7/27 囲碁体験（1人/定員8人） 7/27 太極拳体験（2人/定員8人） 8/10 太極拳体験（1人/定員8人） 7/29 卓球体験（7人/定員8人） 7/31 手話体験（11人/定員20人） 8/ 1 卓球体験（7人/定員8人） 8/ 6 歴史体験（6人/定員10人） 8/ 7 ヨガ体験（4人/定員5人） それぞれ2時間程度	「菅生分館でマナビのタネをみつけよう」 対象:小・中学生（昭和史のみ高校生も可） 全12回 7/24 昭和史の学習（定員8人） 7/25 卓球体験（定員8人） 8/ 1 卓球体験（定員6人） 7/27 盆踊り体験（定員8人） 7/27 チアダンス体験（定員10人） 7/28 スポーツチャンバラ体験（定員10人） 8/ 2 太極拳体験（定員8人） 8/16 太極拳体験（定員8人） 8/ 2 囲碁体験（定員8人） 8/ 4 ヨガ体験（定員5人） 8/ 6 手話体験（定員10人） 8/19 歴史体験（定員10人） それぞれ2時間程度	
シニアの社会参加支援事業	団塊の世代等の市民が、社会で培った豊富な経験・知識・多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での活動に参加できるよう支援します。	報償費 82,500 消耗品 3,000	報償費 82,500 消耗品 3,000	「菅生でお江戸を感じて」 対象:原則として、概ね50歳以上 定員20人、受講者25人 参加人数 5/27 (23人)、6/3 (23人)、6/10 (25人)、 6/17 (23人)、6/24 (23人)	「スマホボランティア養成講座」（定員20人） 5/20～7/1 水曜 13時30分～15時30分 全5回 対象:原則として、概ね50歳以上 参加人数（受講者13人） 5/20 (11人)、5/27 (12人)、6/17 (9人)、 6/24 (8人)、7/1 (9人)	
家庭・地域教育学級	家庭教育の充実を図るために、学齢期の子どもの成長や親子関係について学びます。	報償費 82,500 消耗品 3,000	報償費 82,500 消耗品 3,000	「赤ちゃん期の今だからできること きいてみよう！やってみよう！」 （参加11組/定員12組） 対象：令和6年4月～令和7年3月生まれの第一子の子どもと保護者 全9回 10/7 (8組)、10/19 (9組)、10/26 (9組)、 11/4 (10組)、11/11 (8組)、11/18 (10組)、 11/25 (9組)、12/2 (8組)、12/9 (11組)、 1/11同窓会(4組)	「はじめての子育てパパ必見！どんなパパになりたいですか？」 （定員20組。そのうち、別室保育付き7組） 10月～12月 全6回 対象:令和7年4月～令和8年3月生まれの第1子 の子どもとその父親。ご夫婦も可。	
高齢者セミナー	高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期をおくるための支援をする。			「男の簡単料理 ひとりご飯、みんなでご飯、みんなで元気！」（定員15人） 1/26～3/23 月曜 14時～16時 全5回 対象:原則として、概ね65歳以上 1/26 15人 2/9 12人 2/23 14人 3/9 15人 3/23 13人	未定	
市民学習・市民活動活性化学習事業	市民館保育活動	幼い子をもつ親の学習機会を保障するため、主催事業に保育を併設し、地域で支え合う子育ての環境醸成をめざします。	報償費 49,000 消耗品 3,000	報償費 49,000 消耗品 3,000	保育活動実施事業 ・家庭・地域教育学級 「赤ちゃん期の今だからできること きいてみよう！やってみよう！」 10月～12月 9回 10/7 (3人)、10/19 (3人)、10/26 (7人)、 11/4 (7人)、11/11 (7人)、11/18 (7人)、 11/25 (6人)、12/2 (7人)、12/9 (8人) ・市民自主企画事業 「0歳から親子で楽しめるコンサート」 9/28 参加者 6人 ・市民自主学級 「はじめての絵本とのであい」 1月～3月 5回 1/18 (5人)、2/1 (5人)、2/15 (4人)、 3/1 (5人)、3/15 (5人) 保育に係る研修会 ・保育ボランティア勉強会「事故予防」 6/5 参加者9人	保育活動実施事業 ・家庭・地域教育学級 「はじめての子育てパパ必見！どんなパパになりたいですか？」 （定員20組。そのうち、別室保育付き7組） 10月～12月 全6回 保育に関する研修会 ・保育ボランティア勉強会「保育園見学」 7/15、16 参加者●人 保育園事業協力 ・「パパもわくわくママもわくわくあそぼうDAY」6/6 参加者2人
	子育て支援啓発事業（R6新設）	地域における身近な子育て関連情報の提供や、親子体操、フリートークなどを通して、保護者同士の交流を図り、子育て世代の仲間づくりを支援する。			「児童室で遊ぼうDay」 奇数月の第2日曜 13時～16時 対象:未就学児とその保護者 ＜特別企画＞ 5/11バレー体験会（10組24人）、7/13 夏の 星空体験（8組24人）、9/14支援センター すがおスタッフと一緒にあそぼう （2組5人）、11/9 冬の星空体験（10組28 人）、3/8お下がり交換会（12組31人） ＜自由遊び＞ 5/11(10組23人)、7/13(8組24人)、9/14(2組5 人)、11/9(10組28人)、1/11(4組10人)、 3/8(12組31人)	「児童室で遊ぼうDay」 ＜特別企画＞ 5/10おもちゃでたくさんあそぼう(5組14人) 7/12夏の星空体験 9/13ベビーマッサージ&感覚あそび 11/8バルーンアートであそぼう（市民自主リ ハーサル） 1/10自由あそび 3/14お下がり交換会 ＜自由遊び＞ 5/10 5組14人

市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級	地域の課題等の解決のための学びを個人・グループが企画提案し市民館と協働で学級を企画運営します。	委託料 95,000	委託料 95,000	「着物リメイクでSDGs」（定員20人） 9/11～11/27 木曜 10時～12時 全7回 対象:関心のある方 9/11 19人、9/18 19人、10/2 18人、 10/16 16人、10/30 15人、11/13 15人、 11/27 12人 「はじめての絵本とのであい」 1/18～3/15 全5回 対象:関心のある方 1/18 15人、2/1 14人、2/15 13人、3/1 14人、 3/15 16人	
	市民自主企画事業	地域の特性に応じて、学習・文化・芸術の振興や市民の交流、ネットワーク化に向けて、多様な形態の事業を個人・グループが企画提案し市民館と協働で事業を企画運営します。	委託料 100,000	委託料 100,000	「0歳から親子で楽しめるコンサート」 9/28 参加者 374人 対象:0歳から大人まで 地域にお住まいの方 場所: 菅生小学校 体育館 「いきいき健幸クラブ」 10/15 「健康のために必要な3要素」 10/23 「呼吸が変わると姿勢、睡眠の質が変わる」 10/31 「効果倍増！正しいストレッチと筋トレの方法」 対象:概ね50歳以上の関心のある方 定員30人 「自然エネルギー」 7/26 太陽熱、8/9 風力、8/23午前 間伐材「木」、8/23午後 間伐材「竹」 対象:小学生 各回14人	
	市民エンパワーメント研修	市民自らが考え生活・地域課題等に取り組むために市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供します。	報償費 77,000 消耗品 3,000	報償費 77,000 消耗品 3,000	「地域活動チャレンジ」 公開講座のみの参加 定員15人 連続講座 定員20人 7/5 (23人)、7/10 (6人)、7/24 (5人)、8/7 (5人)、8/21 (8人) 「バルーンアートでボランティア」 8/29、9/5、9/12 事前研修 11/8 リハーサル(児童室であそぼうDayにて) 11/21 すがお手つなぎまつり当日 12/5 卒業制作 定員:20人	
	生涯学習交流会	市民主体の生涯学習・社会教育に向けて市民と職員が共に考えます。	消耗品 3,000	消耗品 3,000	市民自主学級・市民自主企画事業実施団体による成果報告と講話(宮前市民館と合同開催) 報告者:企画事業2組 テーマ:「これからの市民活動について」 3/14 土曜 13:30～15:30 23人	3月実施予定
	学習情報提供・学習相談事業	市民学習活動支援の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集整理し、提供します。また、市民活動を支える市民相互援助システムづくりを図ります。	消耗品 3,000	消耗品 3,000	来館、電話などによる市民の相談に応じました。 90件	来館、電話などによる市民の相談に応じます。
市民・行政協働・ネットワーク学習事業	行政区・中学校区地域教育会議推進事業	家庭・学校・地域の連携により、区内の子育てや生涯学習ネットワーク、教育への市民参画システム作りを行い、地域の教育力の向上をめざします。			菅生中学校区地域教育会議の活動を支援しました(道親ネットワーク、情報委員会に参加)。	菅生中学校区地域教育会議の活動を支援します(道親ネットワーク、情報委員会に参加)。
	課題別連携事業等	地域での子育てや福祉、環境、多文化共生などの課題に取り組むため、関係する市民や機関と連携した会議に参加するとともに、事業を協働で実施します。様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根ざした文化を創造します。 「おもちゃ病院」 壊れたおもちゃを直すことを通じて、物を大切にする心を育むとともに、交流を図る。 「おしゃべりサロンすがお」 孤立しがちな人々が気軽なおしゃべりをできる場としてサロンを開催し、ふれあい・支えあいのできる地域づくりを目指す。	報償費 22,000 消耗品 3,000	報償費 22,000 消耗品 3,000	「おもちゃ病院」 奇数月の第2日曜開催 13時～16時 5/11 (9件)、7/13 (7件)、9/14 (17件)、11/9 (2件)、1/11 (7件)、3/8 (7件) 「おしゃべりサロンすがお」 毎月第4木曜(12月のみ第3木曜) 10時～11時30分 4/24(12人)、5/25(11人)、6/26(18人)、7/24(9人)、8/28(21人)、9/25(18人)、10/23(14人)、11/27(21人)、12/18(21人)、1/22(15人)、2/26(17人)、3/26(17人)	「おもちゃ病院」 奇数月の第2日曜開催 13時～16時 5/10(3件)、7/12、9/13、11/8、1/10、3/14 「おしゃべりサロンすがお」 毎月第4木曜(9月、12月は第3木曜) 10時～11時30分
現代的課題対応学習事業	現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援します。	報償費 22,000 消耗品 3,000	報償費 22,000 消耗品 3,000	「菅生スマホひろば」(定員20人) 毎月第2水曜 4/9(7人)、5/14(6人)、6/11(11人)、7/9(16人)、8/20(13人)、9/10(14人)、10/8(13人)、11/12(11人)、12/10(13人)、1/14(14人)、2/18(12人)、3/11(15人) 「スマホの安全な使い方」(定員菅生分館30人、向丘出張所30人) 菅生分館25人、向丘出張所11人	「菅生スマホひろば」(定員20人) 毎月第2水曜 13時30分～15時 4/8(15人)、5/13(16人)、6/10(18人)、7/8、8/12 9/9 10/14 11/11 12/9 1/13 2/10 3/10 「もし今、大地震が起きたら？」(定員40人)参加者43人 6/30 10時～12時
教育文化会館・市民館学習環境整備事業	刊行・広報活動	学習記録や調査研究書の作成、館のたよりやホームページなどにより、学習情報の蓄積、公開を図ります。	消耗品 49,000 役務費 10,000	消耗品 49,000 役務費 10,000	分館だより年7回 各回2,800部発行 公共施設への配架及び近隣町会へ回覧を依頼 ホームページ随時更新	分館だより年7回 各回2,800部発行 公共施設への配架及び近隣町会へ回覧を依頼 ホームページ随時更新
	その他		食糧費 5,000	食糧費 5,000	食糧費 講師用 飲料水	食糧費 講師用 飲料水
社会教育振興事業予算額		報償費	335,000	335,000		
		消耗品費	73,000	73,000		
		食糧費	5,000	5,000		
		印刷製本費	0	0		
		役務費	10,000	10,000		
		委託料	195,000	195,000		
		備品購入費	0	0		
		合計額	618,000	618,000		

VII 1 川崎市社会教育委員会 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 山澤 和一 子	日本女子大学 客員准教授	4	川崎区におけるシニア事業について	6・18
	○ 山村 本洋 子	教文サークル連絡会 会長	2		
	山本 泉田 政徳 子	川崎市地域女性連絡協議会 理事	2		9・26
	和平 川悦 子	川崎高等学校附属中学校 校長	1		
	飯塚 昭子 子	川崎区文化協会 事務局長	2		12・5
	中嶋 由利 子	川崎区PTA協議会 会長	2		
幸市民館	◎ 大塚 謙一 郎	幸区地域教育会議 議長	2	地域につながる市民館・分館～出会い、生きがい、拡がり求めて～	6・29
	○ 大井 岡了 子	明治大学 兼任講師	4		
	平井 育子 子	西御幸小学校 校長	1		9・5
	伊藤 俊州 子	女衾神社幼稚園 主事	5		
	酒井 清貴 子	幸区文化協会 監査	2		12・13
	中島 由秀 子	公募委員	3		
中原市民館	◎ 矢木 秀男 紀	幸サークル連絡会 会長	2	中原市民館における多世代交流に向けた事業の実施について	2・8
	○ 山田 雅太 子	幸区PTA協議会 副会長	2		
	山本 順太郎 子	かわさき子どもの権利フォーラム 代表	4		6・10
	中原 義郎 子	中原市民館サークル連絡会 庶務担当	2		
	中川 明美 子	井田小学校 校長	1		9・11
	梶川 美子 子	中原区文化協会 理事	2		
高津市民館	◎ 松倉 キミ 子	中原区町内会連絡協議会今井上町町内会 会長	2	「外国につながる子どもの学習支援のあり方について」～多文化共生社会に向けた「多文化子ども塾」の取り組み～	12・5
	○ 滝沢 甲子 子	中原区子ども会連合会副会長・事務局長	2		
	福井 巖香 子	市民委員	3		2・23
	◎ 守屋 由香 子	元中原区PTA協議会 副会長	5		
	○ 迎スミ 子	前川崎市男女共同参画センター 館長	4		4・17
	山本 多央 子	高津区PTA協議会 会計監査	5		
宮前市民館	◎ 齋野 保史 子	川崎市立東高津小学校 校長	1	都市型市民館のあり方について	10・30
	○ 田村 富彦 子	高津区文化協会 理事・事務局長	2		
	角田 仁子 子	高津区地域教育会議 議長	2		12・20
	◎ 松崎 キヨエ 子	高津区全町内会連合会 理事	2		
	○ 笹子 まさえ 子	特定非営利活動法人アクト川崎 事務局長	2		2・8
	遠藤 昌宏 子	下作延小学校PTA 会長	2		
多摩市民館	◎ 仙北 谷力 子	公募委員	3	市民館と地域の拠点（こども文化センター、老人いこいの家）との協働	
	○ 川西 陽子 子	調査モデレーター・分析・各種司会	4		7・3
	井上 幡政 子	菅生分館利用者懇談会 代表	2		
	江崎 弓子 子	宮前区民生委員児童委員協議会 会計	2		10・3
	近江 三郎 子	公募委員	3		
	大津 陽子 子	菅生ヶ丘自治会 自治会長	2		12・20
麻生市民館	◎ 尾崎 布佐 子	宮前区PTA協議会 元副会長	5	地域コミュニティ活性化支援に向けた検討	2・16
	○ 中村 玉恵 子	宮前区文化協会 副会長	2		
	金田 勝巳 子	菅生小学校 校長	1		
	◎ 大小 澤章 子	NPOかわさき創造プロジェクト 理事	4		6・12
	○ 山崎 恵子 子	たま学習サークル連絡会 会長	2		
	倉本 明潤 子	中野島小学校 校長	1		9・20
多摩市民館	◎ 齊藤 勇樹 子	多摩区町会連合会 常任理事	2	市民館と地域の拠点（こども文化センター、老人いこいの家）との協働	12・11
	○ 本 紀代 子	多摩区地域教育会議 副議長	2		
	吉田 幸子 子	多摩区PTA協議会 副会長	5		2・23
	◎ 吉良 幸子 子	多摩区社会福祉協議会 副会長	2		
	○ 井上 俊夫 子	市民委員	3		
	橋本 周樹 子	麻生区地域教育会議 議長	2		6・11
麻生市民館	◎ 永野 直樹 子	麻生区文化協会 役員	2	地域コミュニティ活性化支援に向けた検討	9・10
	○ 高橋 慶子 子	王禅寺中央中学校 校長	1		
	杉森 正男 子	麻生区町会連合会 副会長	2		12・10
	◎ 三上 由加利 子	麻生市民館サークル連絡会 会長	2		
	○ 角田 季美 子	公募委員	3		
	長谷 香乃 子	和光大学 非常勤講師	4		2・23

※区分
 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者
 5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
 (川崎市社会教育委員会規則 第6条別表による)

VII 1 川崎市社会教育委員会 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所 属	区分	研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 山澤 和一 子	元日本女子大学 客員准教授	4	施設を有効活用した居心地の良いフリースペースの設置	6月16日
	○ 村社 延子	教文サークル連絡会 会長	2		9月24日
	今野 直樹	川崎市地域女性連絡協議会 会計	2		12月3日
	永平 悦子	川崎市立富士見中学校 校長	1		2月20日
	坂田 紀子	川崎区文化協会 事務局長	2		
幸市民館	◎ 館 勇 紀	幸区PTA協議会 副会長	2	「人とのつながり」「SNSを活用した情報発信」	6月26日
	○ 伊藤 俊 州	女躰神社幼稚園 主事	5		9月3日
	片岡 了 郎	明治大学 兼任講師	4		12月11日
	大塚 謙一	幸区地域教育会議 議長	2		2月13日
	井育 子	西御幸小学校 校長	1		
中原市民館	◎ 山田 雅 太	かわさき子どもの権利フォーラム 代表	4	地域を子どもと一緒に学ぶ中原市民館	7月19日
	○ 日吉 のぞみ	中原区PTA協議会 副会長	5		9月24日
	森脇 晃 司	下河原小学校 校長	1		12月15日
	梶川 明 美	中原区文化協会 理事	2		2月23日
	山本 順 子	中原市民館サークル連絡会 庶務担当	2		
高津市民館	◎ 迎角 スミ子	前川崎市男女共同参画センター 館長	4	高津市民館にいこう～学びと交流の拠点～	7月8日
	○ 田 仁 史	高津区地域教育会議 議長	2		10月27日
	齋野 保 彦	川崎市立東高津小学校 校長	1		12月8日
	田村 富 哉	高津区文化協会 理事・事務局長	2		2月13日
	小菅 徹 キョエ	高津区PTA連絡協議会 副会長	2		
宮前市民館	◎ 川西 和 子	調査モデレーター・分析・各種司会	4	人と人をつなぐ市民館	7月7日
	○ 杉田 懇 生	菅生分館利用者懇談会 前代表	2		9月15日
	山本 良 子	宮前第4地区民生委員児童委員協議会 会長	2		12月8日
	近江 弓 子	公募委員	3		2月21日
	川田 和 弘	宮前区全町内自治会連合会 副会長	2		
多摩市民館	◎ 大小 勝 巳	NPOかわさき創造プロジェクト 理事	4	市民館と地域の連携（市民館の認知度向上と地域資源の活用に向けて）	6月24日
	○ 澤 章 子	たま学習サークル連絡会 会長	2		9月30日
	千野 隆 之	下布田小学校 校長	1		12月17日
	近藤 清 潤	多摩区町会連合会 常任理事	2		2月21日
	吉田 紀代子	多摩区地域教育会議 副議長	2		
麻生市民館	◎ 井上 俊 夫	麻生区地域教育会議 議長	2	(仮) 10年後の麻生市民館に求められる姿	10月30日
	○ 橋本 浩 之	麻生区文化協会 役員	2		12月22日
	山本 慶 子	王禅寺中央中学校 校長	1		2月21日
	高橋 正 男	麻生区町会連合会 副会長	2		
	杉森 由加利	麻生市民館サークル連絡会 会長	2		

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者
5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
(川崎市社会教育委員会規則 第6条別表による) "

Ⅶ 1 川崎市社会教育委員会 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所 属	区分	研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 山澤和子	元・日本女子大学 客員准教授	4	施設を有効活用した居心地の良いフリースペースの設置	6月22日
	○ 村社一夫	教文サークル連絡会 会長	2		
	今延子	川崎市地域女性連絡協議会 会計	2		10月15日
	植村裕之	川崎高等学校附属中学校 校長	1		12月7日
	平川悦子	川崎区文化協会 事務局長	2		2月20日
幸市民館	◎ 館勇紀	川崎市PTA連絡協議会 会長	2	夢を実現する街 さいわい区を目指して	7月16日
	○ 伊藤俊州	女体神社幼稚園 主事	5		
	片岡了	明治大学 兼任講師	4		9月30日
	大塚謙一郎	幸区地域教育会議 議長	2		12月7日
	井育子	西御幸小学校 校長	1		2月13日
中原市民館	◎ 山田雅太	かわさき子どもの権利フォーラム 代表	4	地域を子どもと一緒に学ぶ 中原市民館	6月11日
	○ 日吉のぞみ	中原区PTA協議会 副会長	5		
	高嶋幸広	荻宿小学校 校長	1		9月2日
	梶川明美	中原区文化協会 理事	2		12月10日
	山本順子	中原市民館サークル連絡会 庶務担当	2		2月20日
高津市民館	◎ 迎角スミ子	元・男女共同参画センター 館長	4	高津市民館にこう ～学びと交流の拠点～	5月7日
	○ 渡部伸一	高津区地域教育会議 議長	2		
	田村彦彦	東高津小学校 校長	1		12月17日
	松富キヨエ	高津区文化協会 理事・事務局長	2		2月12日
	笹子まさえ	高津区全町内会連合会 理事	2		
宮前市民館	◎ 川西和子	調査モデレーター・分析・各種司会	4	人と人をつなぐ市民館	7月8日
	○ 杉田渾生	営生分館利用者懇談会 前代表	2		
	山本良子	宮前第4地区民生委員児童委員協議会 会長	2		10月13日
	近江弓子	公募委員	3		12月24日
	川田和子	宮前区全町内自治会連合会 副会長	2		2月20日
多摩市民館	◎ 大下勝巳	NPO法人かわさき創造プロジェクト理事	4	市民館と地域の連携(市民館の認知度向上と地域資源の活用に向けて)	6月17日
	○ 小澤章一	たま学習サークル連絡会 会長	2		
	小澤洋一	南生田小学校 校長	1		9月30日
	近藤清潤	多摩区町会連合会 常任理事	2		12月7日
	吉田紀代子	多摩区地域教育会議 副議長	2		2月26日
麻生市民館	◎ 井上俊夫	麻生区地域教育会議 議長	2	生涯学習活動の案内機能のあり方について	9月28日
	○ 橋本浩之	麻生区文化協会 役員	2		
	山本慶子	王禅寺中央中学校 校長	1		10月28日
	高橋陽子	麻生区町会連合会 理事	2		1月19日
	菅原由加利	麻生市民館サークル連絡会 会長	2		2月19日

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者
5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
(川崎市社会教育委員会議規則 第6条別表による)

Ⅶ 1 川崎市社会教育委員会議 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所 属	区分	研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 山 澤 和 子	元日本女子大学 客員准教授	4	施設を有効活用した居心地の良いオープンスペースの設置	6月17日
	○ 村 社 一 夫	教文サークル連絡会 会長	2		
	石 井 洋 子	川崎市地域女性連絡協議会 理事	2		9月27日
	永 野 直 樹	川崎市立富士見中学校 校長	1		12月16日
	権 守 ヨ 子	川崎区文化協会 副部会長	2		
幸市民館	箕 輪 佳 世	川崎区PTA協議会 副会長	5	区民と市民館との協働	2月19日
	野 口 恵 子	川崎区地域教育会議 事務局長	2		
	杉 山 麻 由 美	公募委員	3		
	◎ 浦 山 利 博	幸区PTA連絡協議会 会長	2		6月26日
	○ 松 井 節 子	幸区文化協会 評議員	2		
中原市民館	平 井 育 子	西御幸小学校 校長	1	ふらっと立ち寄れる市民館	9月12日
	梅 原 七 重	幸サークル連絡会 会計	2		12月21日
	大 塚 謙 一 郎	幸区地域教育会議 議長	2		
	夏 井 美 幸	公募委員	3		
	片 岡 了 孝	明治大学 兼任講師	4		2月5日
高津市民館	小 泉 愉 孝	鹿島田幼稚園 園長	5	学びとにぎわいのある市民館を目指して～市民と共に市民活動の再開と活性化を進める市民館～	8月3日
	◎ 鈴 木 保 子	市民委員	3		
	○ 菊 地 美 和 子	下河原小学校校長	1		10月18日
	梶 川 明 美 生	中原区文化協会理事	2		12月12日
	中 道 弥 子	中原市民館サークル連絡会会計	2		
宮前市民館	但 野 文 子	中原区地域教育会議副議長	2	地域活動を区民に周知してもらおう広報の在り方	2月5日
	滝 沢 甲 子 男 恵	中原区子ども会連合会副会長兼事務局長	2		
	木 村 利 恵 子	明治大学兼任講師	4		
	日 吉 のぞみ	中原区PTA協議会	5		
	◎ 迎 角 スミ 子	元川崎市男女共同参画センター 館長	4	学びとにぎわいのある市民館を目指して～市民と共に市民活動の再開と活性化を進める市民館～	6月23日
多摩市民館	○ 田 部 伸 一	高津区地域教育会議 議長	2		10月14日
	渡 村 富 彦	川崎市立東高津小学校 校長	1		12月9日
	田 崎 キ ヨ エ	高津区文化協会 事務局長	2		
	松 志 里 恵 努	高津区全町内会連合会 理事	2		
麻生市民館	仙 北 谷 藤 恵 介	(特非) アクト川崎 理事	3	麻生文化センター中庭スペースの有効活用について	2月25日
	◎ 川 西 和 子	調査モデレーター・分析・各種司会	4		6月28日
	○ 山 本 良 子	宮前第4地区民生委員児童委員協議会会長	2		9月21日
	渡 辺 美 代 子	宮前区文化協会 会計	2		12月13日
	山 本 太 三 雄 實	営生分館利用者懇談会	2		
麻生市民館	高 小 小 齊 米 三 小	宮前区全町内自治会連合会 理事	3	(仮)区内全域をフィールドとした社会教育の振興を目指して	2月19日
	○ 吉 田 紀 代 子	公募委員	4		
	高 梨 宏 子	西有馬小学校 校長	1		
	小 澤 章 子	宮前区PTA協議会 副会長	5		
	小 澤 洋 一	多摩区社会福祉協議会 会長	2		6月17日
麻生市民館	藤 山 福 吉 勉 理	東海大学 講師	4	麻生文化センター中庭スペースの有効活用について	9月12日
	品 園 美 理	たま学習サークル連絡会 会長	2		12月16日
	◎ 井 上 俊 夫	南生田小学校 校長	1		
	○ 横 川 博 之	多摩区地域教育会議 副議長	2		2月26日
	山 本 浩 之	生田地区町会連合会 理事	2		
麻生市民館	菅 原 陽 子	市民委員	3	麻生文化センター中庭スペースの有効活用について	8月18日
	松 島 糾 美 恵	多摩区PTA協議会 書記	5		1月24日
	德 富 由 加利	麻生区地域教育会議 議長	2		2月12日
	三 上 季 美 枝	麻生区文化協会 副会長	2		
	田 澤 梓	王禅寺中央中学校 校長	1		

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者 5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
 (川崎市社会教育委員会議規則 第6条別表による)

VII 1 川崎市社会教育委員会 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所 属	区分	研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 山 澤 和 子	元日本女子大学 客員准教授	4	施設を有効活用した居心地の良いオープンスペースの設置	6月16日
	○ 村 社 一 夫	教文サークル連絡会 会長	2		
	石 井 洋 子	川崎市地域女性連絡協議会 理事	2		9月14日
	藤 守 利 行	川崎市立富士見中学校 校長	1		
	権 キ ヨ 子	川崎区文化協会 副部長	2		12月19日
幸市民館	箕 輪 佳 世	川崎区PTA協議会 副会長	5	区民と市民館との協働	
	野 口 恵 子	川崎市地域教育会議 事務局長	2		2月18日
	杉 山 麻 由 美	市民委員	3		
	◎ 浦 山 利 博	川崎市PTA連絡協議会 会長	2		6月29日
	○ 松 井 節 子	幸区文化協会 監査	2		
中原市民館	柴 田 薫 重	西御幸小学校 校長	1	ふらっと立ち寄れる市民館	9月25日
	大 原 七 重	幸サークル連絡会 会計	2		
	塚 謙 一 郎	幸区地域教育会議 議長	2		12月11日
	夏 井 美 幸	公募委員	3		
	片 岡 了 孝	明治大学 兼任講師	4		2月18日
高津市民館	小 泉 愉 孝	鹿島田幼稚園 園長	5	学びとにぎわいのある市民館を目指して～市民と共に市民活動の再開と活性化を進める市民館～	
	◎ 鈴 木 保 子	市民委員	3		6月23日
	○ 菊 地 美 和 子	下河原小学校校長	1		
	梶 川 明 美 生	中原区文化協会理事	2		8月1日
	中 道 弥 生 子	中原市民館サークル連絡会会計	2		
宮前市民館	但 野 文 子	中原区地域教育会議 副議長	2	地域活動を区民に周知してもらおう広報の在り方	12月15日
	滝 沢 甲 子 男	中原区子ども会連合会 副会長兼事務局長	2		
	木 村 利 恵 子	明治大学兼任講師	4		2月17日
	日 吉 のぞみ	中原区PTA協議会	5		
	◎ 迎 角 スミ 子	元川崎市男女共同参画センター 館長	4	学びとにぎわいのある市民館を目指して～市民と共に市民活動の再開と活性化を進める市民館～	6月23日
多摩市民館	○ 渡 田 伸 一 彦	高津区地域教育会議 議長	2		
	田 村 富 彦	東高津小学校 校長	1		10月17日
	松 崎 キ ヨ エ	高津区文化協会 事務局長	2		
	志 水 里 恵 力	高津区全町内会連合会 理事	2		12月5日
	仙 北 谷 里 恵 力	(特非) アクト川崎 理事	2		
麻生市民館	川 西 和 子	調査モデレーター・分析・各種司会	4	区内全域への社会教育アプローチ強化について～アウトリーチ・モデルの実践を通して～	7月24日
	○ 山 本 良 子	宮前第4地区民生委員児童委員協議会 会長	2		
	渡 辺 美 代 子	宮前区文化協会 会計	2		9月20日
	山 本 太 三 雄	菅生分館利用者懇談会	2		
	高 久 光 雄	宮前区全町内自治会連合会 理事	2		12月6日
多摩市民館	丸 尾 明 幸 彦	公募委員	3	市民館の利用促進に向けた取り組みについて	2月18日
	當 間 幸 江	西有馬小学校 校長	1		
	高 梨 宏 子	宮前区PTA協議会 副会長	5		
	○ 米 山 宏 福	東海大学 講師	4		7月24日
	羽 深 吉 東 司	生田地区町会連合会 理事	2		
麻生市民館	安 陪 修 司 子	南生田小学校 校長	1	市民館の利用促進に向けた取り組みについて	8月2日
	小 澤 章 和 子	多摩区社会福祉協議会 副会長	2		
	山 本 和 子	たま学習サークル連絡会	2		10月11日
	三 品 美 理	多摩区地域教育会議 副議長	2		
	小 園 美 理	市民委員	3		2月17日
麻生市民館	◎ 井 上 俊 夫	多摩区PTA協議会 書記	5	市民館の利用促進に向けた取り組みについて	
	○ 横 川 博 行	麻生区地域教育会議 議長	2		5月17日
	山 本 浩 之 子	麻生区文化協会 副会長	2		
	菅 原 陽 子	王禅寺中央中学校 校長	1		8月2日
	徳 田 富 美 恵	麻生市民館サークル連絡会 会長	2		
麻生市民館	角 澤 梓	公募委員	3	市民館の利用促進に向けた取り組みについて	10月11日
	角 田 季 美 枝	公募委員	3		
	角 南 ゆり 絵	和光大学 非常勤講師	4		2月17日
		麻生区PTA協議会 副会長	5		

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者 5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
 (川崎市社会教育委員会規則 第6条別表による)

VII 1 川崎市社会教育委員会 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所 属	区分	主な議題	開催月日
教育文化会館	◎ 山村 澤和子	元日本女子大学 客員准教授	4	市民館の貸館における飲食について	6月21日
	○ 青木 真理	教文サークル連絡会 会長	2		9月20日
	猫橋 則文	川崎市地域女性連絡協議会 理事	2		12月10日
	権守 キヨ子	富士見中学校 校長	1		2月16日
	星野 久美子	川崎区文化協会 副会長	2		
幸市民館	○ 井口 美幸	元こども会 育成会長	5	今後の市民館のあり方	2月16日
	滝口 太志	川崎区地域教育会議 事務局長	2		
	石渡 裕美	市民委員	3		
	梅原 七重	御幸小学校 校長	3		6月24日
	大塚 謙一郎	川崎市PTA協議会 副会長	1		8月25日
中原市民館	○ 小松 愉孝子	幸サークル連絡会 会計	2	ウェルビーイングについて・指定管理者制度とこれからの市民館を考える	12月23日
	五十嵐 礼子	幸区地域教育会議 議長	2		2月16日
	○ 山崎 真喜子	明治大学 兼任講師	4		
	○ 山田 美奈子	鹿島田幼稚園 園長	5		
	○ 吉村 利恵子	幸区文化協会 監査	2		
高津市民館	◎ 角田 仁子	平間小学校 校長	1	指定管理者制度の移行について	7月26日
	○ 下尾 直子	中原区文化協会 副会長	2		10月1日
	渡部 伸一	中原市民館サークル連絡会 会長	2		12月20日
	大野 巳津子	中原区地域教育会議 議長	2		2月15日
	松崎 キユ恵	中原区子ども会連合会 文化部副部長	3		
宮前市民館	◎ 仙北 尚志	市民委員	4	地域住民との繋がりと循環～市民館サポート体制の確立～	6月28日
	○ 川西 和子	明治大学 兼任講師	5		9月24日
	山本 太三雄	中原区PTA協議会 書記	2		12月13日
	白武 初江	高津区地域教育会議 議長	2		2月16日
	渡辺 美代子	洗足こども短期大学 教授	4		
多摩市民館	○ 高梨 宏子	東高津小学校 校長	2	市民館の管理運営・各種事業に関する審議及び事業の活性化と利用促進について	6月28日
	○ 山深 千津子	高津区文化協会 副会長・理事	2		9月27日
	伊藤 賢昭	高津区全町内会連合会 理事	2		12月13日
	川安 修司	(特非)アクト川崎 理事	2		2月16日
	澤田 典子	市民委員	3		
麻生市民館	○ 井上 俊夫	高津区PTA協議会 副会長	5	指定管理者後の麻生市民館のあり方について	7月31日
	○ 浜田 富美恵	調査モデレーター・分析・各種司会	4		10月8日
	金子 弘行	菅生分館利用者懇談会	2		12月10日
	横川 博圭	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長	2		
	平出 圭子	宮前区文化協会 会計	2		

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者 5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
 (川崎市社会教育委員会規則 第6条別表による)